

第6回

長野県移動性・安全性向上検討委員会

日時 平成21年12月17日(木)

14:00～16:00

場所 JA長野県ビル12C会議室

議事次第

開 会

1 開催あいさつ

2 委員紹介

3 議 事

- (1) 前回までの委員会について . . . 資料 - 1
- (2) 長野県の道路現況について . . . 資料 - 1
- (3) 混雑多発箇所選定の取組について . . . 資料 - 1
- (4) イライラ・ハラハラ箇所における「C：評価」及び「A：反映」段階の推進方針について . . . 資料 - 1
- (5) 新たなイライラ・ハラハラ箇所抽出とパブリックコメント実施について . . . 資料 - 1

(6) 質疑応答

閉 会

長野県移動性・安全性向上検討委員会

第6回 委員会資料

平成21年12月17日

1. 概要

1 - 1. 委員会の経緯等について

1. 概要

委員会の経緯

第1～5回の内容

PDCAサイクル

イライラ評価内容

ハラハラ評価内容

2. 道路現況

3. 混雑多発

4. 第6回位置付け

5. フォロ-アップ

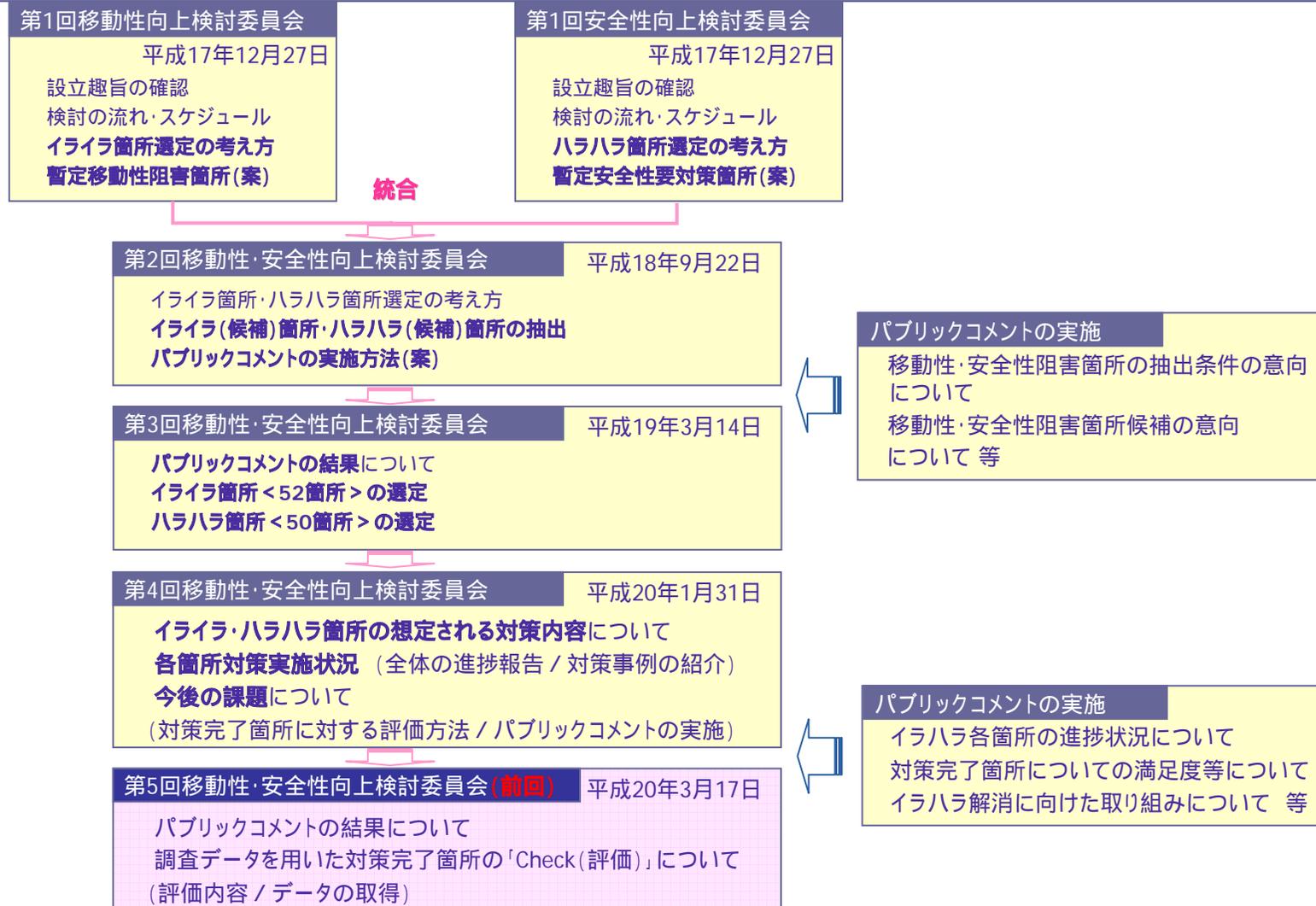
6. 評価方法

7. 新たな箇所

8. パブコメ

9. 今後の方針

▶ 本委員会では、長野県の移動性・安全性の障害要因を分析するとともに地域住民の実感・意見などを踏まえ、障害度が大きい“イライラ”・“ハラハラ”箇所の選定・公表、及び、“イライラ”・“ハラハラ”箇所の解消に向けた方針検討を行うことを目的としています。これまでに実施した第1～5回委員会での検討内容は、以下のとおりです。



1. 概要

1 - 2 . 前回まで (第 1 ~ 5回委員会) の内容】

1. 概要

委員会の経緯

第1~5回の内容

PDCAサイクル

イライラ評価内容

ハラハラ評価内容

2. 道路現況

3. 混雑多発

4. 第6回位置付け

5. フォロ-アップ

6. 評価方法

7. 新たな箇所

8. パプコメ

9. 今後の方針

➤ 長野県内における移動性・安全性の障害箇所について、移動性障害箇所52箇所(以降、イライラ箇所)・安全性要対策箇所50箇所(以降、ハラハラ箇所)を統計データや県民の意見をふまえて選定し、イライラ・ハラハラ箇所の解消に向けた取り組みを進めています。



1. 概要

<プランPDCA>

1 - 3. 「PDCAサイクル」について

1. 概要

委員会の経緯

第1～5回の内容

PDCAサイクル

イライラ評価内容

ハラハラ評価内容

2. 道路現況

3. 混雑多発

4. 第6回位置付け

5. フォロ-アップ

6. 評価方法

7. 新たな箇所

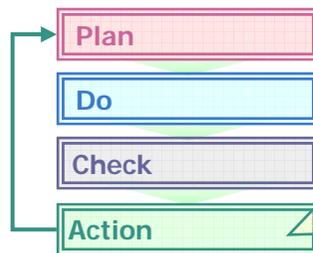
8. パブコメ

9. 今後の方針

- 対策完了箇所における「改善効果の確認」、「追加対策」や「新規箇所の追加」を検討しながらPDCAサイクルを進めます。
- 「追加対策」については、対策の効果が得られなかった箇所において随時検討を行います。
- 「新規箇所の追加」については、箇所を選定するための“新たな指標”についても随時検討していきます。

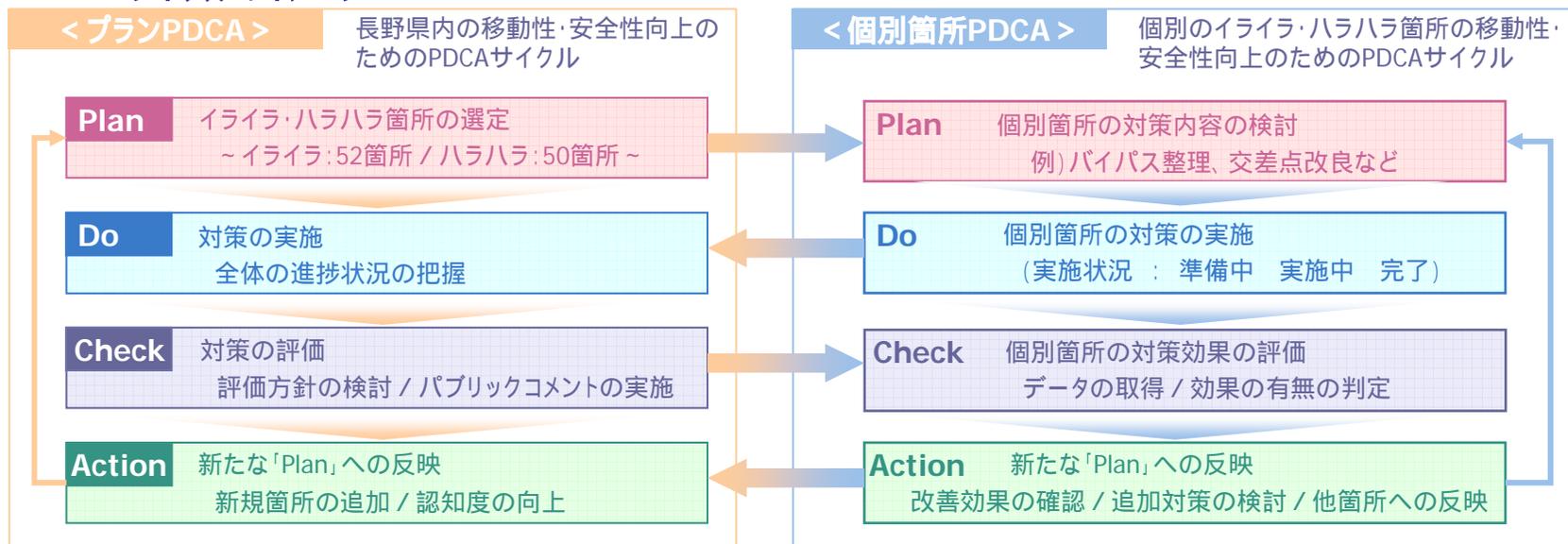
PDCAサイクルに関する今後の課題

【Action(反映)の概要】



- 「改善効果の確認」、「追加対策の必要性検討」などを行う
- 「個別事業で得られた課題、知見」などを他のイライラ・ハラハラ箇所に反映する
(管理者間での情報共有を図る)
- 新たな指標や基準を検討するとともに、「新規箇所の追加」を検討する
- 認知度が向上するような積極的な周知活動を行う。

<PDCAサイクルのイメージ>



1. 概要

< 個別箇所PDCA >

1 - 4. “イライラ” 箇所のうち対策完了した箇所の「Check(評価)」

1. 概要

委員会の経緯

第1～5回の内容

PDCAサイクル

イライラ評価内容

ハラハラ評価内容

2. 道路現況

3. 混雑多発

4. 第6回位置付け

5. フォロ-アップ

6. 評価方法

7. 新たな箇所

8. パブコメ

9. 今後の方針

- ▶ 「評価内容」は、阻害要因の様々な「改善効果」に関する項目を整理しています。
- ▶ 「取得するデータ」は、評価内容を最も把握できると考えられるデータを取得します。

イライラ箇所の「評価内容」と「取得データ」

- ▶ 「評価内容」と評価するための「取得データ(案)」を以下に示す。
- ▶ データの取得や把握は、各イライラ箇所の対策に関連する道路管理者が担当する。

阻害要因	評価内容(案) (評価指標)	取得するデータ(案)		
		項目	取得時期	取得の頻度
渋滞	渋滞の削減・緩和	渋滞損失時間	H16～対策完了後一定年数	毎年
		渋滞長	対策実施前後	合計2回 (対策直前と完了直後)
積雪	除雪時の走行性の向上	整備後の車道幅員	対策実施前後	合計2回 (対策直前と完了直後)
		積雪量に応じた除雪の回数	対策実施前後	合計2回 (対策直前と完了直後)
災害・気象	災害・気象による通行止めの削減	通行止め時間	H14～対策完了後一定年数	毎年
	気象による影響の緩和	改良率	対策実施前後	合計2回 (対策直前と完了直後)
線形不良・交通不能	線形不良の解消・改善	平面線形・縦断勾配・幅員構成	対策実施前後	合計2回 (対策直前と完了直後)
		線形不良率	対策実施前後	合計2回 (対策直前と完了直後)
		交通不能区間	対策実施前後	合計2回 (対策直前と完了直後)
		旅行速度	H20～対策完了後一定年数	合計2回 (対策直前と完了直後)
		所要時間	H20～対策完了後一定年数	毎年

渋滞損失時間：運転者や同乗者が交通渋滞により浪費している時間を表す

1. 概要

< 個別箇所PDCA >

1 - 5. “ハラハラ” 箇所のうち対策完了した箇所の「Check(評価)」

1. 概要

委員会の経緯

第1～5回の内容

PDCAサイクル

イライラ評価内容

ハラハラ評価内容

2. 道路現況

3. 混雑多発

4. 第6回位置付け

5. フォロ-アップ

6. 評価方法

7. 新たな箇所

8. パブコメ

9. 今後の方針

- 評価内容については、「事故件数の増減」だけでなく、「事故類型」や「事故発生位置」の変化などについて評価します。
- 可能であれば、死亡・障害費用の低減効果についても評価します。

ハラハラ箇所の「評価内容」と「取得データ」

- 「評価内容」と評価するための「取得データ(案)」を以下に示す。
- データの取得や把握は、各ハラハラ箇所の対策に関連している道路管理者が担当する。



死傷事故率：自動車走行台キロあたりの死傷事故件数を表す

H18年度のハラハラ箇所の選定では「H12～H15(4年間)の事故データ」を用いているため、経年的な対策効果の判定についても4年間のデータを用いることが望ましい。

2. 長野県の道路現況について

2-1. 長野県の道路現況

1. 概要

➤ 長野県は、他県に比べて自動車への依存度が高いですが、交通渋滞・交通事故が多発するとともに、交通不能箇所存在に対し不満を感じている県民が多く、渋滞の解消や通常・冬期走行における移動性・安全性の向上が期待されています。

2. 道路現況

長野県道路現況

高速料金割引

3. 混雑多発

4. 第6回位置付け

5. フォロ-アップ

6. 評価方法

7. 新たな箇所

8. パブコメ

9. 今後の方針

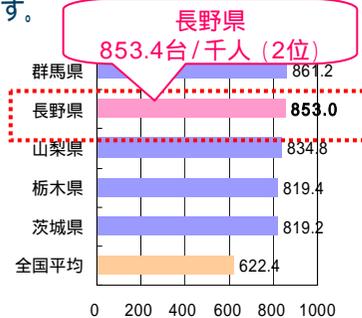
自動車への依存度が高い

・長野県は南北に長く、急峻な山地部を抱えています。また、北部を中心に豪雪地帯・特別豪雪地帯を抱える気象条件下でもあります。

・人口当たりの自動車保有台数(H20年度末)は、全国2位であり、自動車への依存度が極めて高くなっています。



【出典：長野県資料】



図：人口千人当たりの自動車保有台数
【出典：自動車検査登録情報協会資料、国勢調査結果】

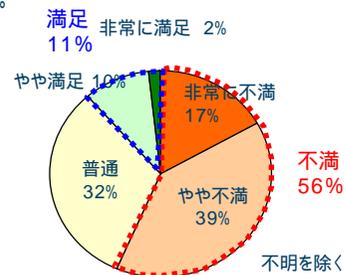
地形・雪・異常気象による交通不能

・災害・積雪などによる多大な通行止め時間が生じています。

・県内の『冬期の走行』に不満を感じている県民は56%おり、冬期走行の安全性の向上が期待されています。



図：県内の災害や気象状況による全面通行止め実績
【出典：国土交通省資料】

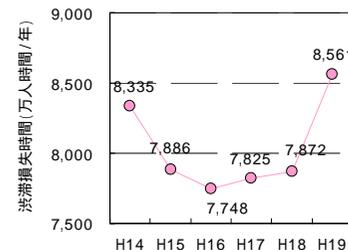


図：冬期の走行(除雪状況・スリップ)の満足度
【出典：平成20年度県政世論調査】

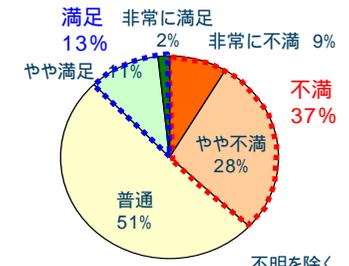
交通渋滞

・県内の渋滞損失時間は、近年増加傾向にあり、平成19年度で年間8,561万人時間/年に達しています。

・県内の『車の流れ』に不満を感じている県民は37%おり、渋滞の解消が期待されています。



図：県内の渋滞損失時間の推移
【出典：国土交通省資料】

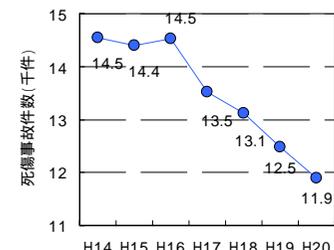


図：車の流れ(渋滞状況等)の満足度
【出典：平成20年度県政世論調査】

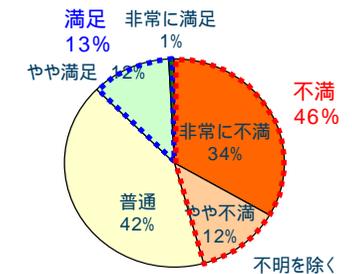
交通事故

・管内では死傷事故件数が年々減少しており、平成20年で11,898件発生しました。

・県内の『車利用時の安全性』に不満を感じている県民は43%おり、安全性の向上が期待されています。



図：県内の死傷事故件数の推移
【出典：国土交通省資料】



図：車利用時の安全性(幅、路面状況、カーブ、勾配等)の満足度
【出典：平成20年度県政世論調査】

2. 長野県の道路現況について

2-2. 高速道路料金割引に係わる新聞の論調

1. 概要

➤ 県内の高速道路では、平成21年3月28日から開始された休日における高速道路料金引き下げ(特別割引)により、高速道路本線への交通集中が起こり、昨年度と比較して渋滞・事故が増加するという傾向が示されております。

2. 道路現況

長野県道路現況

高速料金割引

3. 混雑多発

4. 第6回位置付け

5. フォロ-アップ

6. 評価方法

7. 新たな箇所

8. パブコメ

9. 今後の方針

高速道路料金引き下げによる県内の高速道路への影響

平成21年3月28日から高速道路料金の引き下げ(休日特別割引)開始
・地方圏の通行量を上限千円(休日割引)、お盆時期(一部適応)

高速道路料金引き下げにより県内の高速道路の交通量が増加

長野県警交通規制課では、6月の土日計8日間の高速道路と一般道路の交通量を調査。その結果、**県内高速道路(中央、長野、上信越自動車道)上下線の交通量が昨年比各約50%増加**した。

出処:産経新聞朝刊 平成21年8月4日付

高速道路での渋滞が増加

今年のお盆期間(8月8~17日)に**県内高速道路で発生した10キロ以上の渋滞は、前年の1ヵ所から15ヵ所に増加**したことが長野県警交通企画課のまとめで18日、分かった。同課は、**高速道路料金の割引に加え、地震によって静岡県内で通行止めとなった東名高速道路の迂回で車が増えた**とみている。

出処:信濃毎日新聞朝刊 平成21年8月19日付

高速道路での事故が増加

高速道路での**人身事故が3件(昨年比3件増)、物損事故は41件(同比13件増)**となった。

出処:産経新聞朝刊 平成21年8月4日付

参考:GW時の高速道路料金引き下げによる高速道路の交通量変化

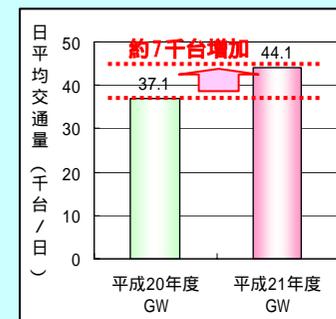


図:上信越自動車道 松井田妙義～碓氷軽井沢の日平均交通量の変化(ゴールデンウィーク)
[出典:NEXCO東日本資料]

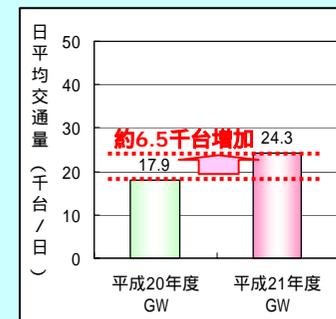


図:上信越自動車道 信濃町～妙高高原の日平均交通量の変化(ゴールデンウィーク)
[出典:NEXCO東日本資料]

3. 「混雑多発箇所」の抽出について

3-1. 「混雑多発箇所」の抽出について

1. 概要

2. 道路現況

3. 混雑多発

混雑多発箇所抽出

箇所リスト

4. 第6回位置付け

5. フォロアップ

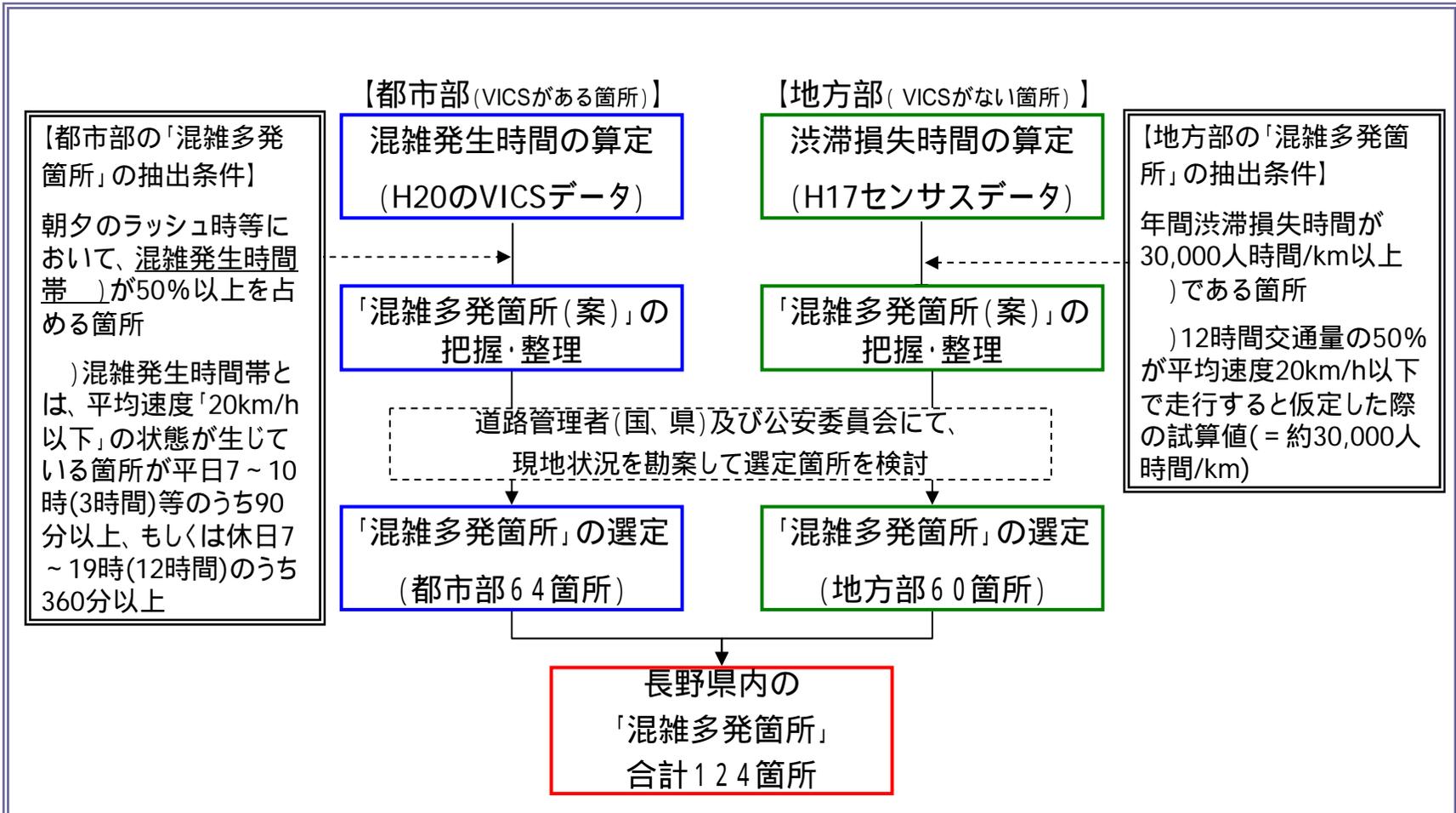
6. 評価方法

7. 新たな箇所

8. パブコメ

9. 今後の方針

- ITS技術の進展により、VICS情報の収集が全国に広がり、また、プローブ情報の普及も急速に広がりつつあります。
- 現在、全国レベルで活用できる客観的なデータの1つであるVICS情報に着目し、今後、新たな客観的なデータ(VICSデータ等)から主要交差点の渋滞量を把握したうえで「混雑多発箇所」を抽出するとともに、重点的に対策を実施していく箇所を厳選した上で対策を実施することと致します。
- 新たなイライラ箇所を抽出する際には、この「混雑多発箇所」も指標に加え、抽出作業を行います。



3. 「混雑多発箇所」の抽出について

3-2. 「混雑多発箇所」のリストアップについて

1. 概要

▶ 長野県内の混雑多発箇所は124箇所あり、そのうち都市部が64箇所、地方部が60箇所です。

2. 道路現況

3. 混雑多発

混雑多発箇所抽出

箇所リスト

4. 第6回位置付け

5. フォロ-up

6. 評価方法

7. 新たな箇所

8. パブコメ

9. 今後の方針

混雑多発箇所の位置図



混雑多発箇所の箇所一覧

No.	路線名	箇所名	地域	No.	路線名	箇所名	地域
1	(主)長野上田線	布施高田	都市部	65	一般国道18号	牧家西	地方部
2	(国)18号	大塚交差点	都市部	66	(国)18号	鼠橋通り	地方部
3	(国)117号	荒木交差点	都市部	67	一般国道18号	栢瀬下	地方部
4	(国)117号	中御所	都市部	68	一般国道19号	消防署前	地方部
5	(国)18号	西尾張部	都市部	69	一般国道20号	富川	地方部
6	(国)18号	東利田交差点	都市部	70	一般国道20号	中河原北	地方部
7	(国)19号	下水館南交差点	都市部	71	(国)141号	千曲病院入口	地方部
8	(主)長野上田線	旧18号 北原交差点	都市部	72	(国)141号	勝間	地方部
9	(主)長野上田線	中水橋	都市部	73	(国)141号	長土呂東	地方部
10	(国)117号	赤木橋交差点	都市部	74	(国)144号	下原	地方部
11	(主)長野須坂インター線	本工団地南入口	都市部	75	(国)149号	大黒町	地方部
12	(主)長野菅平線	七瀬南	都市部	76	(国)151号	森東	地方部
13	(主)長野菅平線	末広町	都市部	77	(国)153号	市役所入口	地方部
14	(主)長野菅平線	南千磨町	都市部	78	(国)153号	大芝入口	地方部
15	(市)長野中央通り	大門南	都市部	79	(国)254号	野沢本町	地方部
16	(主)長野菅平線	七瀬南東	都市部	80	(国)361号	伊那市入舟	地方部
17	(国)19号	稲里西	都市部	81	(国)403号	稲荷山温泉入口	地方部
18	(国)18号	大塚南	都市部	82	(主)佐久軽井沢線	佐久インター入口	地方部
19	(国)18号	南俣	都市部	83	(主)塩尻駒形線	金塚	地方部
20	(国)19号	市役所前	都市部	84	(主)下仁田浅科線	こども未来館前	地方部
21	(国)19号	市役所前駅	都市部	85	(主)豊科インター-塩釜線	大口沢	地方部
22	(主)長野停車場線	新田町	都市部	86	(主)上田丸子線	赤坂上	地方部
23	(国)18号	上千田	都市部	87	(主)上田丸子線	下小島	地方部
24	(国)117号	(青木島郵便局前)	都市部	88	(主)長野信州新線	御都川	地方部
25	(国)117号	四間通18号 川中島 - 舟波島橋までの間	都市部	89	(主)駒ヶ根駒ヶ岳公園線	北町	地方部
26	(国)18号	山ノ内駅前	都市部	90	(県)借宿小諸線	(三岡駅北)	地方部
27	(国)18号	上高田北	都市部	91	(県)香取中込線	相生町南	地方部
28	(主)長野信濃線	上松五差路	都市部	92	(県)本町中込停車場線	野沢十二町	地方部
29	(主)長野上田線	見六橋	都市部	93	(県)上田停車場線	上田駅前城口	地方部
30	(主)長野真田線	小島田	都市部	94	(国)153号	鹿光寺	地方部
31	(国)19号	村井下町北交差点	都市部	95	(県)横川岡谷線	岡谷インター西	地方部
32	(国)158号	新村交差点	都市部	96	(県)新田松本線	町区東	地方部
33	(国)19号	鎌田交差点	都市部	97	(県)塩尻停車場線	大門八幡町	地方部
34	(県)塩尻松本停車場線	白坂	都市部	98	(県)塩尻停車場線	打沢	地方部
35	(市)3017号線	並柳	都市部	99	(県)須坂停車場線	春木町南	地方部
36	(国)19号	高宮交番	都市部	100	(県)長野停車場岡田線	岡田町南	地方部
37	(主)松本塩尻線	松南高前	都市部	101	(県)牛島嶺内停車場線	落合橋南詰	地方部
38	(国)143号	中央1丁目交差点	都市部	102	(県)長野野線	大門	地方部
39	(市)2784号線	(千原橋交差点南・増田家具デパート前)	都市部	103	(県)諏訪湖四管線	六斗橋	地方部
40	(国)143号	坂橋東	都市部	104	(国)153号	北の原	地方部
41	(県)143号	坂橋二丁目	都市部	105	(主)上田丸子線	自然運動公園口	地方部
42	(県)荒川寺鎌田線	庄内町(東側)	都市部	106	一般国道117号	北瀬川	地方部
43	(県)荒川寺鎌田線	中込	都市部	107	(国)254号	平瀬口	地方部
44	(市)1223号線	鎌ヶ崎高校	都市部	108	(主)岡谷停車場線	本町1丁目	地方部
45	(市)1530号線	市役所北	都市部	109	(県)諏訪大社春宮線	春宮大門	地方部
46	(国)143号	深志2	都市部	110	(県)伊那八幡停車場線	伊那八幡駅	地方部
47	(県)平田新橋線	交差点名ナシ(岡野菜品前)	都市部	111	(県)新茶屋塩尻線	(大門寺町・英功堂前)	地方部
48	(県)平田新橋線	柳橋	都市部	112	(県)穂伊停車場線	(穂高駅北・県道308号・県道317号交差点)	地方部
49	(国)18号	上塩尻東交差点	都市部	113	(県)戸倉停車場線	戸倉駅入口	地方部
50	(国)152号	大屋	都市部	114	(県)信濃浅野停車場線	(信濃浅野駅前・県道367号・県道368号交差点・浅野郵便局前)	地方部
51	(国)18号	園分一丁目交差点	都市部	115	(県)柳屋停車場線	柳屋駅入口	地方部
52	(国)18号	住吉交差点	都市部	116	(県)清野線/井俣停車場線	御幣川五差路	地方部
53	(国)18号	常田三丁目	都市部	117	(県)稲荷山停車場線	稲荷山駅入口	地方部
54	(主)下諏訪辰野線	本町	都市部	118	(県)屋代停車場線	屋代駅前	地方部
55	(国)403号	埴高町交差点	都市部	119	(国)18号	篠ノ井橋北	地方部
56	(国)147号	一ノ北	都市部	120	一般国道19号	村井	地方部
57	(国)20号	中河原	都市部	121	(国)19号	平田南	地方部
58	(国)153号	高出	都市部	122	(国)19号	平田	地方部
59	(国)18号(旧)	麓山	都市部	123	(国)19号	美芳町	地方部
60	(主)下仁田軽井沢線	新軽井沢	都市部	124	(国)141号	勝部交差点	地方部
61	(国)18号BP	交差点名ナシ(18号旧道・B・P分岐)	都市部				
62	(主)下仁田軽井沢線	信号交差点でない(ショッピングプラザ前)	都市部				
63	(国)18号BP	塩沢	都市部				
64	(国)20号	大社通り	都市部				

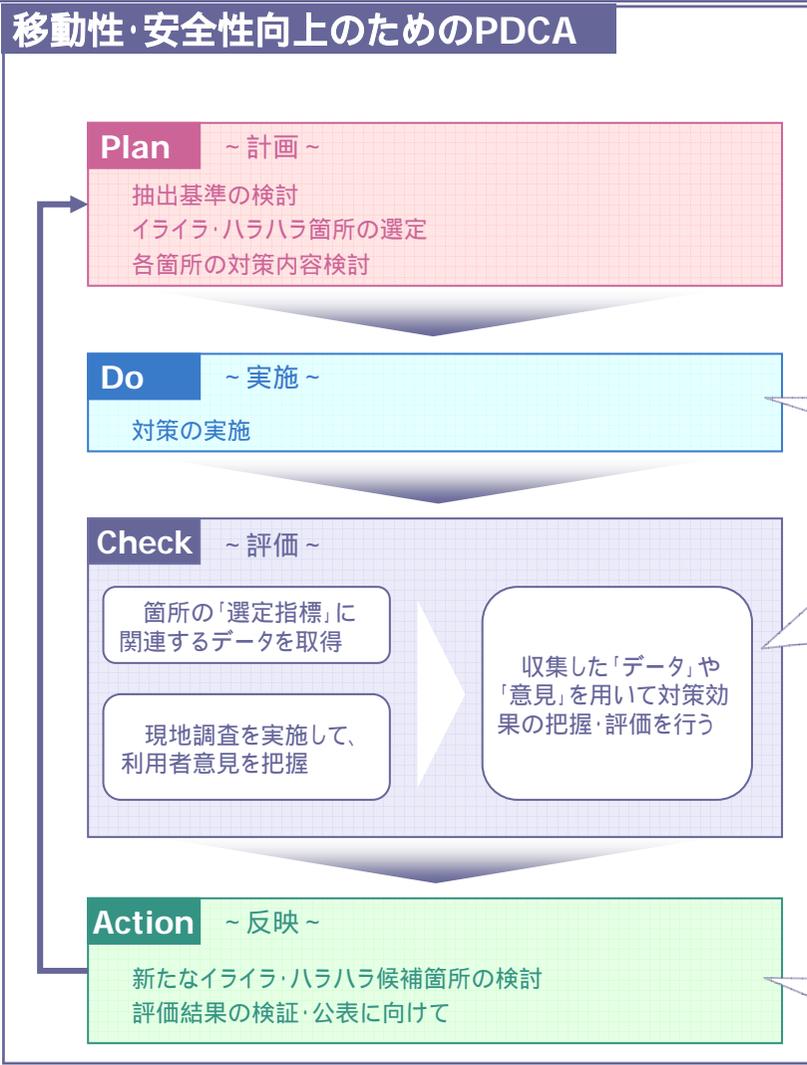
都市部はVICSがある箇所、地方部はVICSがない箇所

4. 第6回委員会の位置づけ

<プランPDCA>

- 1. 概要
- 2. 道路現況
- 3. 混雑多発
- 4. 第6回位置付け
- 5. フォローアップ
- 6. 評価方法
- 7. 新たな箇所
- 8. パブコメ
- 9. 今後の方針

➢ 第6回委員会では、PDCAサイクルにおける「Check(評価)」、及び「Action(反映)」の方針検討が主な内容になります。
➢ 具体的には、「Do(実施)」のイライラ・ハラハラ箇所の進捗状況の確認を行うとともに、「Check(評価)」、及び「Action(反映)」の方法、新たなイライラ・ハラハラ箇所の抽出にともなうパブリックコメントの実施方針について検討いただきます。



~ 第6回委員会の検討項目 ~

- イライラ・ハラハラ箇所の進捗状況確認
- イライラ・ハラハラ箇所のフォローアップ
~ 対策完了箇所の事業効果(速報)の紹介 ~
対策完了箇所の「Check(評価)」方法の検討
- パブリックコメントの実施方針
~ イライラ・ハラハラ箇所の進捗状況について、
対策完了箇所について ~
- 新たなイライラ・ハラハラ候補箇所の検討
- パブリックコメントの実施方針
~ 新たなイライラ・ハラハラ候補箇所について ~

5. イライラ・ハラハラ箇所のフォローアップ

< 個別箇所PDCA >

5-1. イライラ箇所の進捗状況

1. 概要

- ▶ イライラ箇所(52箇所)のうち、平成22年3月末までに11箇所で想定対策事業が完了の予定です。
- ▶ 未対策・対策未完了箇所についても、引き続き、対策内容検討や対策実施を進めています。

2. 道路現況

3. 混雑多発

4. 第6回位置付け

5. フォローアップ

イライラ進捗状況

ハラハラ進捗状況

進捗状況とりまとめ

イライラ評価事例

ハラハラ評価事例

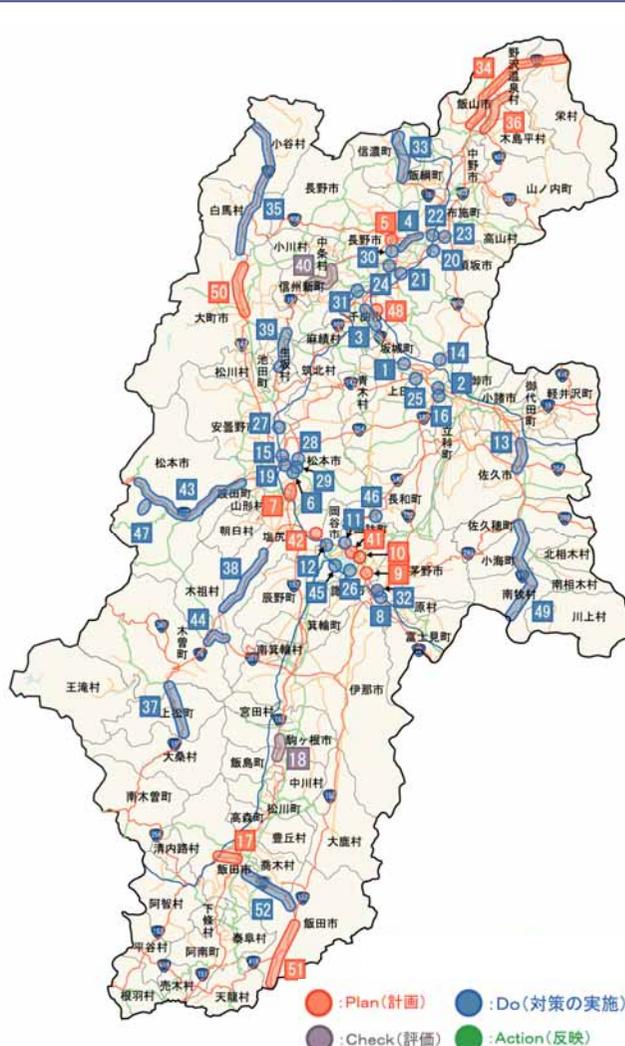
6. 評価方法

7. 新たな箇所

8. パブコメ

9. 今後の方針

イライラ箇所の進捗状況(平成22年3月末予定)



No.	路線名	場所(交差点名等)	阻害要因	Plan	Do	Check	Action	(参考) 想定される対策事業
				検討中	計画済み	準備中	実施中	
1	一般国道18号	上田市上塩尻東～坂城町鼠橋通り	渋滞					国道18号上田坂城バイパス
2	一般国道18号	上田市大屋付近	渋滞					国道18号上田バイパス
3	一般国道18号	千曲市戸倉～兼佐	渋滞					国道18号坂城更道バイパス
4	一般国道18号	長野市上千田～柳原北	渋滞					国道18号長野東バイパス
5	一般国道19号	長野市中御所～屈町	渋滞					検討中
6	一般国道19号	松本市芳野～白坂	渋滞					国道19号松本拡幅
7	一般国道19号	塩尻市吉田北～松本市平田	渋滞					国道19号塩尻北拡幅
8	一般国道20号	茅野市高川～中河原北	渋滞					国道20号坂室バイパス
9	一般国道20号	諏訪市四賀～赤羽根路切付近	渋滞					検討中
10	一般国道20号	諏訪市元町～湖畔通り2丁目	渋滞					検討中
11	一般国道20号	下諏訪町高部～西大路口	渋滞・災害・気象					国道20号下諏訪岡谷バイパス
12	一般国道20号	岡谷市岡谷インター	渋滞					国道20号岡谷塩尻改良
13	一般国道141号	佐久市藤部付近	渋滞					白田～野沢バイパス
14	一般国道144号	上田市下藤付近	渋滞					上野バイパス
15	一般国道147号	松本市新橋	渋滞					高家バイパス
16	一般国道152号	上田市大屋駅前	渋滞					大屋
17	一般国道153号	飯田市インター付近	渋滞					検討中
18	一般国道153号	駒ヶ根市小町屋南	渋滞					伊南バイパス
19	一般国道158号	松本市清1丁目付近	渋滞					国道19号松本拡幅
20	一般国道403号	須坂市幸高～須坂インター	渋滞					幸高～井上拡幅
21	一般国道403号	長野市長野インター南付近	渋滞					松代
22	一般国道406号	須坂市村山町	渋滞					村山橋
23	一般国道406号	須坂市須坂駅前	渋滞					臥竜線整備事業(須坂市)
24	(主)長野真田線	長野市下水鉦南付近	渋滞					小島田
25	(主)長野上田線	上田市三好町	渋滞					三好町 北天神町吉町線
26	(主)諏訪辰野線	諏訪市洪崎	渋滞					小和田
27	(主)豊科インター堀金線	安曇野市豊科田沢	渋滞					高家バイパス
28	(一)平田新橋線	松本市深志2丁目	渋滞					本町～栄町 二の丸豊田線
29	(一)兔川寺鐘田線	松本市鐘田	渋滞					鎌田～中奈 内環状南線
30	(一)三才大豆島中御所線	長野市荒木	渋滞					若里 丹波島村山線
31	(一)稲荷山停車場線	長野市稲荷山駅付近	渋滞					塩崎
32	(一)弘沢茅野線	茅野市茅野市街	渋滞					永明 中町通線外2線
33	一般国道18号	信濃町内	積雪					国道18号野尻バイパス
34	一般国道117号	飯山市中央橋西～新潟県境	積雪					検討中
35	一般国道148号	白馬村神橋～新潟県境	積雪/線形不良・交通不能					検討中
36	(主)飯山野沢温泉線	飯山市蜷川橋～横落	積雪					検討中
37	一般国道19号	上松町上松	災害・気象					検討中
38	一般国道19号	塩尻市奈良良井～豊川	災害・気象					検討中
39	一般国道19号	生坂村内	災害・気象					国道19号防災(山清路防災)
40	一般国道19号	信州新町奈津女橋～長野市巻平トンネル西	災害・気象					国道19号防災家庭災害復旧事業
41	一般国道20号	下諏訪町藤ノ木～高部	災害・気象					検討中
42	一般国道20号	塩尻市塩尻付近	災害・気象					国道20号下諏訪岡谷バイパス
43	一般国道158号	松本市中ノ瀬～波田町新島々駅付近	災害・気象/線形不良・交通不能					国道158号うすき橋バイパス
44	一般国道361号	木曾町神谷	災害・気象/線形不良・交通不能					姥神峠道路(延伸)
45	(主)岡谷茅野線	岡谷市湊	災害・気象					検討中
46	(一)八島高原線	下諏訪町東俣	災害・気象					災害復旧事業
47	(一)白鳥温泉線	松本市安曇沢付近	災害・気象					白鳥
48	(一)白石千曲線	千曲市横町付近	災害・気象					検討中
49	一般国道141号	山梨県境～佐久穂町清水町	線形不良・交通不能					市場坂
50	一般国道148号	大町市木崎～青木湖付近	線形不良・交通不能					検討中
51	一般国道152号	飯田市南信濃青淵峠付近	線形不良・交通不能					検討中
52	一般国道256号	飯田市上村付近	線形不良・交通不能					検討中

色が濃い箇所が前回委員会(H20.2時点)からH22.3末にかけての進捗状況

5. イライラ・ハラハラ箇所のフォローアップ

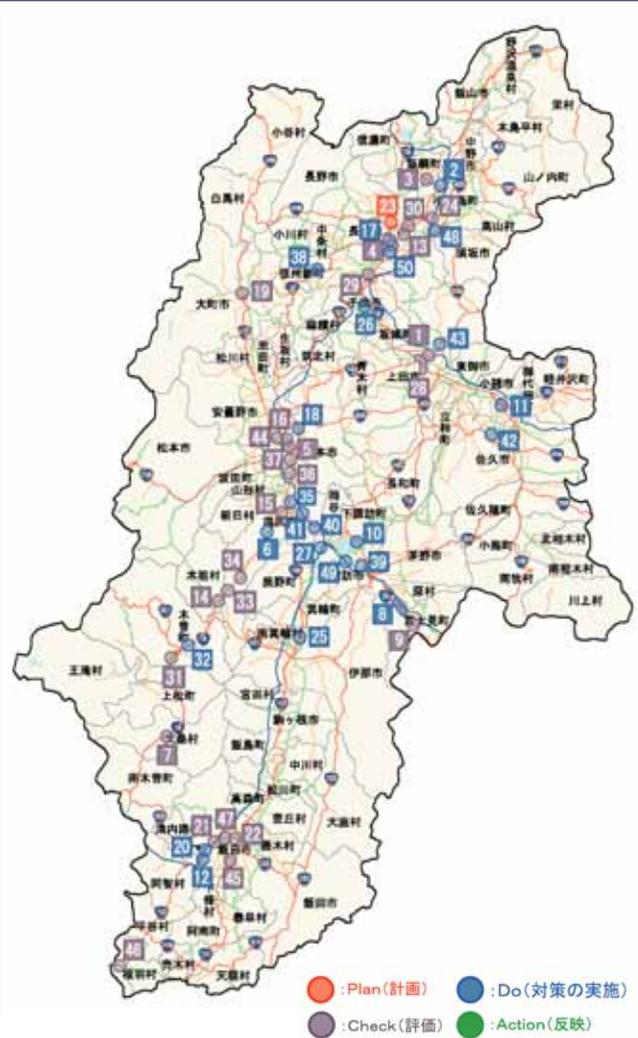
< 個別箇所PDCA >

5 - 2. ハラハラ箇所の進捗状況

- 1. 概要
- 2. 道路現況
- 3. 混雑多発
- 4. 第6回位置付け
- 5. フォロ-アップ
 - イライラ進捗状況
 - ハラハラ進捗状況
 - 進捗状況とりまとめ
 - イライラ評価事例
 - ハラハラ評価事例
- 6. 評価方法
- 7. 新たな箇所
- 8. パブコメ
- 9. 今後の方針

➢ ハラハラ箇所(50箇所)のうち、平成22年3月末までに34箇所想定対策事業が完了の予定です。
 ➢ 未対策・対策未完了箇所についても、引き続き、対策内容検討や対策実施を進めています。

ハラハラ箇所の進捗状況(平成22年3月末予定)



No.	路線名	場所(交差点等)	阻害要因	Plan			Do			Check		Action	(参考) 想定される対策事業
				検討中	計画済み	準備中	実施中	対策完了	調査中	評価済み			
1	一般国道18号	上田市住吉	死傷事故率比									交通安全対策	
2	一般国道18号	長野市浅野	死傷事故率比									交通安全対策	
3	一般国道18号	飯綱町牟礼駅入口	死傷事故率比									牟礼駅人口交差点改良	
4	一般国道19号	長野市下水箱南	死傷事故率比									交通安全対策	
5	一般国道19号	松本市井川城口	死傷事故率比									交通安全対策	
6	一般国道19号	塩尻市宗賀	死傷事故率比									交通安全対策	
7	一般国道19号	大泉村長野	死傷事故率比									交通安全対策	
8	一般国道20号	富士見町富士見付近	死傷事故率比									富士見歩道設置	
9	一般国道20号	富士見町小手沢	死傷事故率比									交通安全対策	
10	一般国道20号	諏訪市諏訪1丁目付近	死傷事故率比									上諏訪電線共同溝	
11	一般国道141号	小諸市赤坂	死傷事故率比									交通安全対策	
12	一般国道153号	飯田市東平	死傷事故率比									交通安全対策	
13	一般国道18号	長野市稲葉付近	死傷事故率比/死傷事故件数									交通安全対策	
14	一般国道19号	木祖村飯原	死傷事故率比/死傷事故件数									交通安全対策	
15	一般国道19号	塩尻市宗賀	死傷事故率比/死傷事故件数									交通安全対策	
16	一般国道19号	松本市渚1丁目	死傷事故率比/死傷事故件数									交通安全対策	
17	一般国道117号	長野市青木島町大塚	死傷事故率比/死傷事故件数									青木島拡幅	
18	一般国道143号	松本市回田付近	死傷事故率比/死傷事故件数									回田拡幅	
19	一般国道147号	大町市大町旭町	死傷事故率比/死傷事故件数									未対策(改善傾向箇所)	
20	一般国道153号	飯田市中村	死傷事故率比/死傷事故件数									安全対策	
21	一般国道153号	飯田市大瀬木~飯田インター入口	死傷事故率比/死傷事故件数									交通安全対策	
22	一般国道153号	飯田市鎌名古熊	死傷事故率比/死傷事故件数									交通安全対策	
23	一般国道406号	長野市茂萱付近	死傷事故率比/死傷事故件数									検討中	
24	一般国道406号	須坂市村山町大淵	死傷事故率比/死傷事故件数									村山橋	
25	(主)伊那辰野停車場線	伊那市上牧	死傷事故率比/死傷事故件数									伊那バパス	
26	(主)長野上田線	千曲市上山田町	死傷事故率比/死傷事故件数									力石~上五明	
27	(主)下諏訪辰野線	岡谷市川岸上1丁目~川岸保育園前	死傷事故率比/死傷事故件数									成田町 岡谷川岸線	
28	一般国道18号	上田市国分西~中央5丁目	死傷事故件数									交通安全対策	
29	一般国道18号	長野市南宮家西	死傷事故件数									交通安全対策	
30	一般国道18号	長野市西尾張部	死傷事故件数									交通安全対策	
31	一般国道19号	木曾町福島	死傷事故件数									事故危険箇所対策(伊谷交差点)	
32	一般国道19号	木曾町日鏡	死傷事故件数									交通安全対策	
33	一般国道19号	木祖村飯原	死傷事故件数									事故危険箇所対策(飯原北交差点)	
34	一般国道19号	塩尻市豊川	死傷事故件数									交通安全対策	
35	一般国道19号	塩尻市大門七区	死傷事故件数									交通安全対策	
36	一般国道19号	松本市芳川村井付近	死傷事故件数									交通安全対策	
37	一般国道19号	松本市野溝	死傷事故件数									交通安全対策	
38	一般国道19号	信州新町新町付近	死傷事故件数									新町歩道設置	
39	一般国道20号	諏訪市諏訪インター	死傷事故件数									諏訪IC交差点改良	
40	一般国道20号	岡谷市今井付近	死傷事故件数									国道20号下諏訪岡谷バパス	
41	一般国道20号	塩尻市榎敷付近	死傷事故件数									小坂田公園交差点改良	
42	一般国道142号	佐久市助部付近	死傷事故件数									佐久南拡幅	
43	一般国道144号	上田市本原付近	死傷事故件数									上野バパス	
44	一般国道147号	松本市島内	死傷事故件数									高家バパス	
45	一般国道151号	飯田市川路田中	死傷事故件数									未対策(改善傾向箇所)	
46	一般国道153号	根羽村下町	死傷事故件数									交通安全対策	
47	一般国道153号	飯田市上殿町	死傷事故件数									交通安全対策	
48	一般国道403号	須坂市井上町幸高	死傷事故件数									幸高~井上拡幅	
49	(主)回谷茅野線	諏訪市大熊	死傷事故件数									湘南	
50	(主)長野真田線	長野市下水箱付近	死傷事故件数									小島田	

色が濃い箇所が前回委員会(H20.2時点)からH22.3末にかけての進捗状況

5. イライラ・ハラハラ箇所のフォローアップ

< 個別箇所PDCA >

5-3. イライラ・ハラハラ箇所の進捗状況のとりまとめ

1. 概要

- H22.3までにイライラ箇所は、11箇所に対策完了し、そのうち10箇所が評価(調査中)段階となっています。
- また、ハラハラ箇所は、H22.3までに34箇所に対策完了し、そのうち26箇所が評価(調査中)段階となっています。
- 対策完了箇所については、順次、評価を進めていきます。

2. 道路現況

3. 混雑多発

4. 第6回位置付け

5. フォローアップ

イライラ進捗状況

ハラハラ進捗状況

進捗状況とりまとめ

イライラ評価事例

ハラハラ評価事例

6. 評価方法

7. 新たな箇所

8. パブコメ

9. 今後の方針

イライラ・ハラハラ箇所の進捗状況(平成22年3月末予定)

イライラ箇所(52箇所)の進捗状況

Plan(計画)の段階: 11箇所

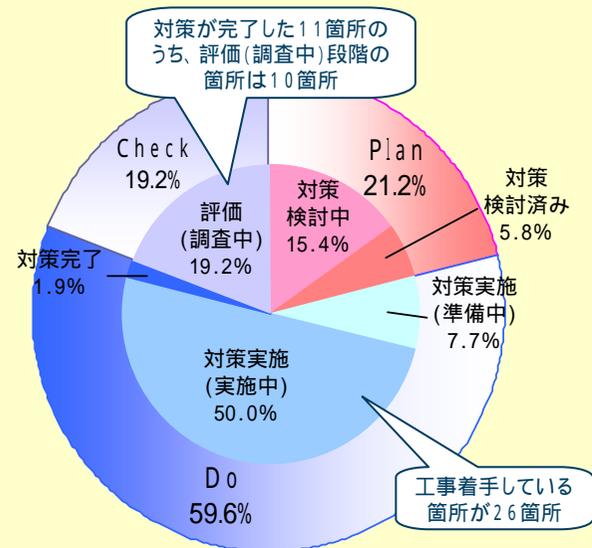
(検討中: 8箇所 / 計画済み: 3箇所)

Do(実施)の段階: 31箇所

(準備中: 4箇所 / 実施中: 26箇所 / 完了: 1箇所)

Check(評価)の段階: 10箇所

(調査中: 0箇所 / 評価済み: 0箇所)



ハラハラ箇所(50箇所)の進捗状況

Plan(計画)の段階: 1箇所

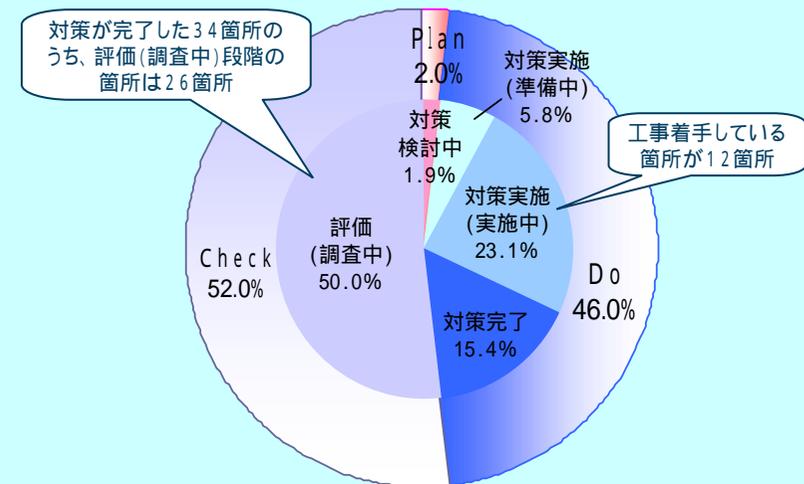
(検討中: 1箇所 / 計画済み: 0箇所)

Do(実施)の段階: 23箇所

(準備中: 3箇所 / 実施中: 12箇所 / 完了: 8箇所)

Check(評価)の段階: 26箇所

(調査中: 26箇所 / 評価済み: 0箇所)



5. イライラ・ハラハラ箇所のフォローアップ

< 個別箇所PDCA >

5-4. イライラ箇所の対策事例の評価結果（速報）～一般国道153号駒ヶ根市小町屋南部～

1. 概要

- イライラ箇所 No.18 国道153号駒ヶ根市小町屋南部 の対策内容および効果評価を以下に整理しました。
- 当該箇所の対策として、一般国道147号伊南バイパス(L=9.2km)の整備を進めてきました。伊南バイパスでは、H19.12に駒ヶ根工区(L=4.3km)において全線暫定2車供用を開始しました。
- パブリックコメントの結果、“非常に満足”・“やや満足”と回答した人は約7割であり、利用者から高く評価されています。
- 今後、平成20年度の渋滞損失時間を活用した渋滞緩和効果の検討を行います。

2. 道路現況

3. 混雑多発

4. 第6回位置付け

5. フォローアップ

イライラ進捗状況

ハラハラ進捗状況

進捗状況とりまとめ

イライラ評価事例

ハラハラ評価事例

6. 評価方法

7. 新たな箇所

8. パブコメ

9. 今後の方針

位置図



対策内容

対策内容：一般国道153号伊南バイパス

・H19.12に伊南バイパスの駒ヶ根工区(駒ヶ根市福岡～駒ヶ根市北ノ原間)(L=4.3km)が暫定2車線供用した。

期待される整備効果

- 駒ヶ根市外部の渋滞の緩和による、スムーズな交通の確保
- 歩行空間の確保や救急車両到着時間の短縮による、安全で安心な暮らしの確保



交通渋滞の発生状況

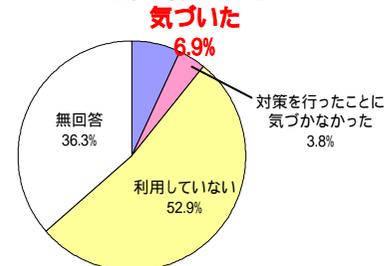
現道では、道路幅員が狭小であるため交通容量不足による慢性的な交通渋滞が発生し、沿道環境の悪化、交通事故の危険性などが増大していた。



効果評価

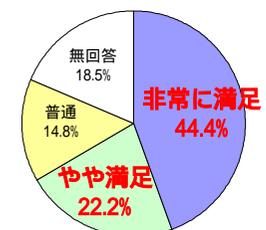
パブリックコメントのアンケート回答者のうち、本対策を実施したことに気づいた人は、回答者のうち16.4%。

【対策の認知度】対策を行ったことに気づいた



対策を行ったことに気づいた人のうち、“非常に満足”、“やや満足”と回答した人は58.8%。

【対策の満足度】



配布数：1030件、回収数：391件

5. イライラ・ハラハラ箇所のフォローアップ

< 個別箇所PDCA >

5 - 5 . ハラハラ箇所の対策事例の評価結果（速報）～一般国道18号 長野市西尾張部～

1. 概要

- ハラハラ箇所 No.30 一般国道18号 長野市西尾張部 では、平成18年12月に対策完了しました。
- 該当箇所の対策として、予告矢印およびセンターゼブラ標示、右折帯を設置し、追突事故等の防止を図りました。
- 対策後には、死傷事故件数が58%減少、着目事故である追突事故は67%減少し、改善効果がみられました。
- パブリックコメントの結果、“非常に満足”・“やや満足”と回答した人は約6割であり、利用者から高く評価されています。
- 対策後の評価期間が1年ではありますが、今後も経過観察を行いながら改善効果の評価を行います。

2. 道路現況

3. 混雑多発

4. 第6回位置付け

5. フォローアップ

イライラ進捗状況

ハラハラ進捗状況

進捗状況とりまとめ

イライラ評価事例

ハラハラ評価事例

6. 評価方法

7. 新たな箇所

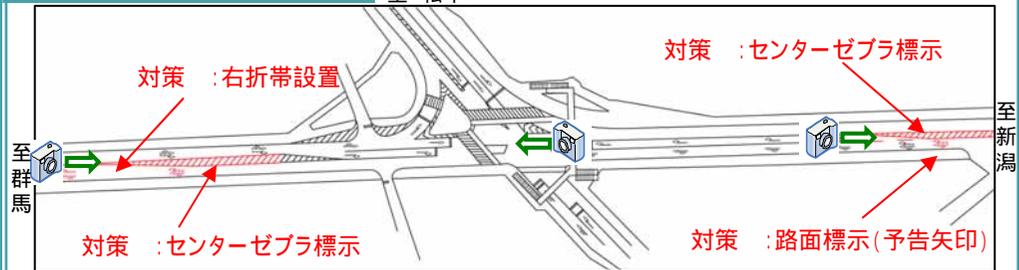
8. パブコメ

9. 今後の方針

位置図



対策内容(H18.12完了)



センターゼブラを設置して車両走行の安定化を図り、追突等の事故を防止する。



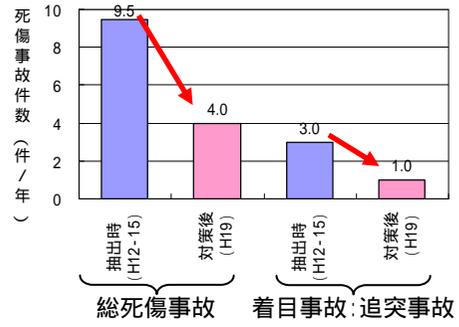
路面標示(予告矢印)を設置し安定した車線変更を促し、追突事故を防止する。



右折帯を設置して直進車と右折車の錯綜を抑制する。

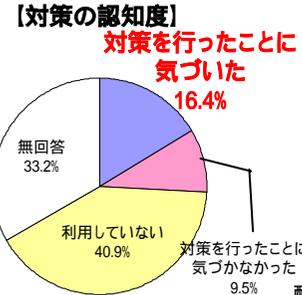
効果評価

抽出時(H12-15)と対策後(H19)を比較すると、死傷事故件数は58%減少、着目事故(追突事故)は67%減少。

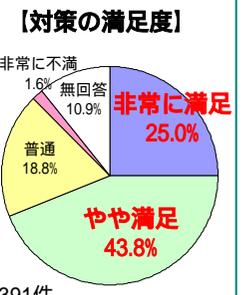


対策後は、暫定的に1年間の事故件数を用いて評価を行った。

パブリックコメントのアンケート回答者のうち、本対策を実施したことに気づいた人は、回答者のうち16.4%。



対策を行ったことに気づいた人のうち、“非常に満足”、“やや満足”と回答した人は58.8%。



配布数: 1030件、回収数: 391件

6 . 対策完了箇所の「Check(評価)」方法

< 個別箇所PDCA >

6 - 1 . 評価方針の概要

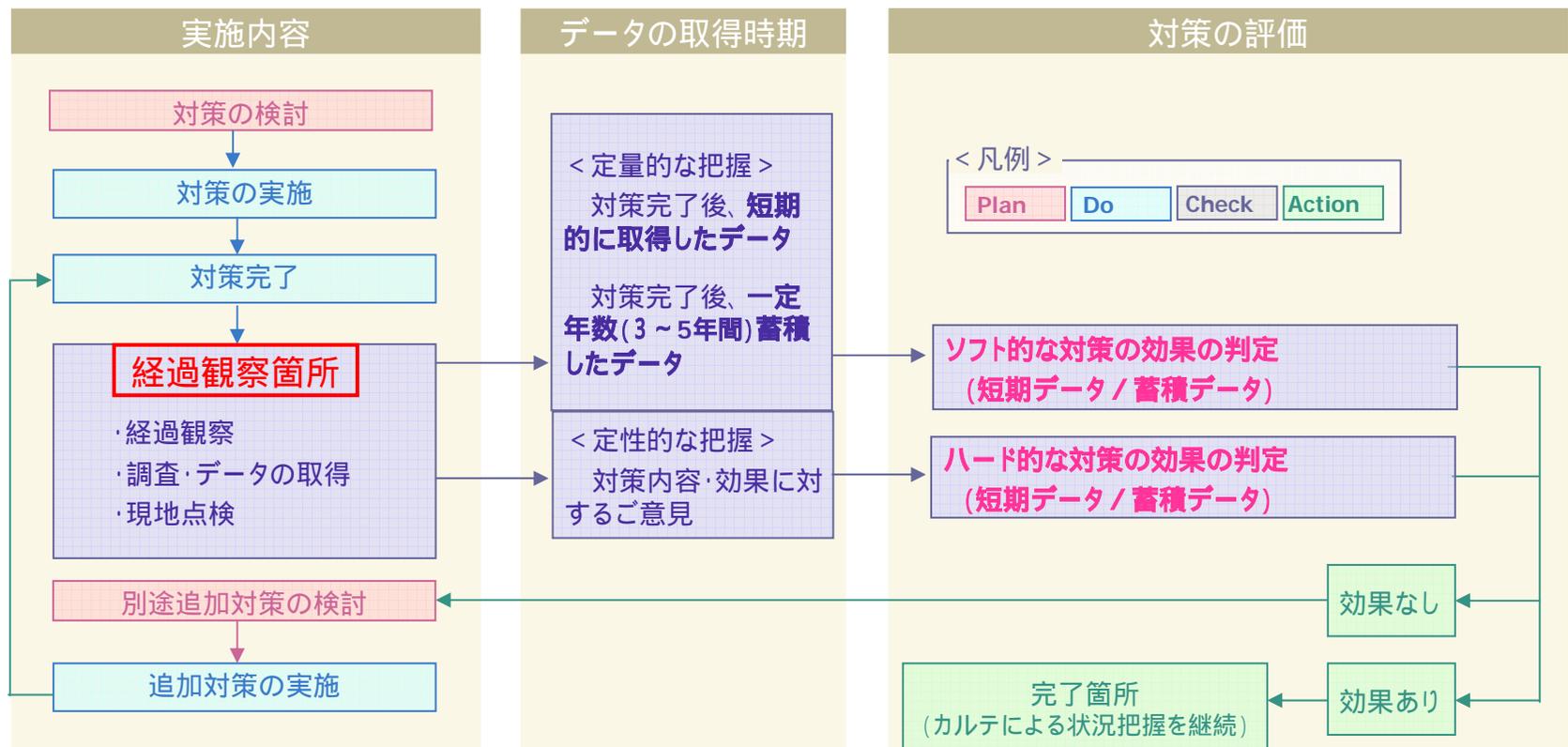
- 1. 概要
- 2. 道路現況
- 3. 混雑多発
- 4. 第6回位置付け
- 5. フォローアップ
- 6. 評価方法
 - 評価方針
 - データによる評価
 - 現地調査
 - 各指標による効果
- 7. 新たな箇所
- 8. パプコメ
- 9. 今後の方針

- イライラ・ハラハラ箇所対策が完了した箇所は、「経過観察箇所」として、改善効果の継続的把握を行います。
- 短期的に取得したデータによる暫定的な評価や、一定年数を経過観察した上で蓄積したデータを用いて改善効果の評価を行います。
- 各箇所の状況に応じ現地調査等により道路利用者や地域住民の方々のご意見を頂き、評価に反映します。

改善効果の「調査・評価時期」と「評価方針」 【イライラ・ハラハラ箇所の対策効果の評価方法】

ソフト対策：短期的に実施可能な対策で、即効性の効果が期待できる。
(例：除雪回数の増加、信号現示の見直し など)

ハード対策：長期的な整備が必要となる対策で、恒久的な効果が期待できる。
(例：バイパス整備、交差点改良 など)



6. 対策完了箇所の「Check(評価)」方法

< 個別箇所PDCA >

6-2. 取得したデータによる評価

- 1. 概要
- 2. 道路現況
- 3. 混雑多発
- 4. 第6回位置付け
- 5. フォロ-アップ
- 6. 評価方法
 - 評価方針
 - データによる評価
 - 現地調査
 - 各指標による効果
- 7. 新たな箇所
- 8. パブコメ
- 9. 今後の方針

- 評価内容は、抽出時に設定した阻害要因指標とすることを基本とします。
- 「渋滞損失時間」や「死傷事故率比」などのデータによる定量的な評価の他、現地調査による道路利用者や地域住民の方々の満足度調査等、定性的な評価も行います。

【各指標による評価】

定量指標: 抽出時の選定条件となった項目(渋滞損失時間、死傷事故率比、死傷事故件数)で定量的に評価

定性的指標: 選定時の選定条件となった項目について道路構造・道路断面・写真等や現地調査での意見収集から定性的に評価

その他: その他の方法による評価(間接効果(CO₂削減量等)等)

【評価方法】

イライラ箇所の取り組み

阻害要因	定量的な評価	定性的な評価	その他	評価する内容
渋滞	渋滞損失時間	通行性	利用者の意見・満足度	渋滞の削減・緩和
積雪	除雪後の車道幅員	雪道の通行性		積雪時の走行性の向上
災害・気象	通行止め時間	災害対策状況		災害・気象による安全性の確保
線形不良・交通不能	対策後の道路線形、車道幅員	通行性、地域連絡性の向上		急カーブ、狭小幅員等の解消

ハラハラ箇所の取り組み

阻害要因	定量的な評価	定性的な評価	地域住民意見による評価	評価する内容
死傷事故率比	死傷事故率比	安全な通行の確保	利用者の意見・満足度	死傷事故の発生比率の低下
死傷事故件数	死傷事故件数			死傷事故件数、追突事故や歩行者・自転車関与事故件数等の削減

6 . 対策完了箇所「Check(評価)」方法

< 個別箇所PDCA >

6 - 3 . 現地調査について

- 1. 概要
- 2. 道路現況
- 3. 混雑多発
- 4. 第6回位置付け
- 5. フォローアップ
- 6. 評価方法
 - 評価方針
 - データによる評価
 - 現地調査
 - 各指標による効果
- 7. 新たな箇所
- 8. パプコム
- 9. 今後の方針

➢ 対策事業が完了したイライラ・ハラハラ箇所において、現地調査の開催を検討します。
 ➢ 現地調査は、道路利用者等からの意見を「Check(評価結果)」の際の参考とするとともに、他のイライラ・ハラハラ箇所に対する対策内容検討の参考とすることを目的に実施します。

現地視察会の位置付け

➢ PDCAサイクルにおける「Check(評価)」と「Action(反映)」として、位置付ける。

目的

- 委員に対する対策実施(現地の状況、対策の実施内容)の結果報告
- 委員からの意見(アンケート調査票への記入)を対策の「Check(評価)」に反映
- 今後の移動性・安全性向上検討委員会の運営に反映

調査内容

- 対策後の交通状況の変化に関する質問
- 対策後に交通状況が変化しなかった理由
- 取り組みに関する意見 等

< 現地視察会のアンケート調査票のイメージ >

*「ハラハラ」箇所(安全性要対策箇所):No.30 一般国道18号 長野市西尾張部

位置図

事故発生状況

H12～15で年平均8.5件発生
(県平均の約5倍以上！)

着目事故では、追突事故が年平均2.3件発生

事故発生原因

該当区間は、車道幅員が広く、車両の走行位置が不安定であり、かつ右折帯が設置されていないため、追突事故等が発生

衝突 イメージ

事故発生状況図を提供してください

該当箇所の安全に関する質問を並び、以下のアンケート回答欄にご記入ください。

チェック1

この箇所における、現在の交通の状況について、あなたのご意見をお聞かせください。実施する対策ごとの質問内容を読んで、あなたのご意見にあはまる回答を選択項目からひとつ選び、選択項目欄に“○”印を記入してください。

対策内容	質問内容	質問に対する選択項目				
		とても思う	思う	どちらとも言えない	思わない	全然思わない
センターゼブラ標示	直進車がスムーズに走行できるようになったと思いませんか？					
路面標示(予告矢印)	交差点手前で安定した車線変更が行われるようになったと思いませんか？					
右折帯設置	右折帯が同方向の直進車の邪魔にならなくなったと思いませんか？					
	右折がスムーズに行われるようになったと思いませんか？					

チェック2

チェック1の質問で、一つでも「どちらとも言えない」「思わない」「全然思わない」を選んだ人にお訪ねします。あなたが、そう思った理由をご記入ください。

別)

チェック3

この箇所の取り組みに関するご意見があれば、自由にご記入ください。

チェック4

あなたのごことについて、教えてください。

居住地: _____ 都道府県 _____ 市区町村 _____

性別: [男・女] 年齢: [_____] 歳

運転の頻度: [a. 運転しない b. 年に数回 c. 月に数回 d. ほぼ毎日]

主な運転目的: [a. 通勤 通学 b. 業務 c. 買い物 d. レジャー]

当該箇所で実施した対策は、以下の通りです。

事業概要(対策図)

対策前

平成18年12月に完了

対策後

センターゼブラ標示

センターゼブラを設置して車両走行の安定化を図り、追突等の事故を防止する。

路面標示(予告矢印)

路面標示(予告矢印)を設置し安定した車線変更を促し、追突事故を防止する。

右折帯設置

右折帯を設置して直進車と右折車の混雑を抑制する。

6. 対策完了箇所の「Check(評価)」方法

6-4. 各指標による評価(イライラ箇所)

< 個別箇所PDCA >

1. 概要

- 各イライラ箇所毎に整理するカルテを活用し、イライラ箇所の対策内容及び評価データを整理し、「経過観察」を行います。
- 今後、カルテを用いて、「Action(反映)」である「改善効果の確認」、「追加対策の必要性」を検討します。

2. 道路現況

3. 混雑多発

4. 第6回位置付け

5. フォローアップ

6. 評価方法

評価方針

データによる評価

現地調査

各指標による効果

7. 新たな箇所

8. パブコメ

9. 今後の方針

移動性障害箇所 一般国道153号 駒ヶ根市小町屋南部		対策PDCAレベル	No. 18																																																																																						
<table border="1"> <tr><th colspan="2">箇所概要</th></tr> <tr><td>No.</td><td>18</td></tr> <tr><td>箇所名</td><td>駒ヶ根市小町屋南部</td></tr> <tr><td>路線名</td><td>一般国道153号</td></tr> <tr><td>管轄</td><td>飯田国道事務所</td></tr> </table>		箇所概要		No.	18	箇所名	駒ヶ根市小町屋南部	路線名	一般国道153号	管轄	飯田国道事務所		<table border="1"> <tr><th colspan="2">移動性障害状況</th></tr> <tr><td>障害要因</td><td>渋滞</td></tr> <tr><td>抽出の背景</td><td>渋滞損失時間が県内平均の10倍以上の区間で、値が連続して高い箇所 (H16渋滞損失時間: 139.8千人時間/年・km)</td></tr> </table>	移動性障害状況		障害要因	渋滞	抽出の背景	渋滞損失時間が県内平均の10倍以上の区間で、値が連続して高い箇所 (H16渋滞損失時間: 139.8千人時間/年・km)																																																																						
箇所概要																																																																																									
No.	18																																																																																								
箇所名	駒ヶ根市小町屋南部																																																																																								
路線名	一般国道153号																																																																																								
管轄	飯田国道事務所																																																																																								
移動性障害状況																																																																																									
障害要因	渋滞																																																																																								
抽出の背景	渋滞損失時間が県内平均の10倍以上の区間で、値が連続して高い箇所 (H16渋滞損失時間: 139.8千人時間/年・km)																																																																																								
<table border="1"> <tr><th colspan="3">センサスデータ</th></tr> <tr><td>代表箇所</td><td>H11</td><td>H17</td></tr> <tr><td>区間番号</td><td>1193</td><td>1292</td></tr> <tr><td>交通量(台/日)</td><td>16,843</td><td>17,093</td></tr> <tr><td>旅行速度(km/h)</td><td>23.7</td><td>32.7</td></tr> <tr><td>車道幅員(m)</td><td>7.5</td><td>7.5</td></tr> <tr><td>沿道状況</td><td>平地</td><td>平地</td></tr> </table>		センサスデータ			代表箇所	H11	H17	区間番号	1193	1292	交通量(台/日)	16,843	17,093	旅行速度(km/h)	23.7	32.7	車道幅員(m)	7.5	7.5	沿道状況	平地	平地	<table border="1"> <tr><th colspan="2">バブコメ結果 : 箇所名(回答数)</th></tr> <tr><td>候補箇所</td><td>駒ヶ根市赤穂(8)</td></tr> <tr><td>その他箇所</td><td>松本 - 長野高速自動車道(1)</td></tr> </table>	バブコメ結果 : 箇所名(回答数)		候補箇所	駒ヶ根市赤穂(8)	その他箇所	松本 - 長野高速自動車道(1)																																																												
センサスデータ																																																																																									
代表箇所	H11	H17																																																																																							
区間番号	1193	1292																																																																																							
交通量(台/日)	16,843	17,093																																																																																							
旅行速度(km/h)	23.7	32.7																																																																																							
車道幅員(m)	7.5	7.5																																																																																							
沿道状況	平地	平地																																																																																							
バブコメ結果 : 箇所名(回答数)																																																																																									
候補箇所	駒ヶ根市赤穂(8)																																																																																								
その他箇所	松本 - 長野高速自動車道(1)																																																																																								
<table border="1"> <tr><th colspan="3">事業概要</th></tr> <tr><td>事業名</td><td>伊南バイパス</td><td>事業の背景</td></tr> <tr><td>事業計画</td><td>平成9年度 ~ 平成29年度</td><td>一般国道153号の駒ヶ根市・飯島町周辺では、道路幅員の狭小や交通容量不足による慢性的な交通渋滞、沿道環境の悪化、交通事故の危険性などの課題を抱えている。</td></tr> <tr><td>対策内容</td><td> <ul style="list-style-type: none"> 駒ヶ根市赤穂 - 飯島町本郷(L=9.2km)について伊南バイパスの整備を進めている。 H16.3. (主)駒ヶ根長谷線 - (市)中通線区間(L=1.7km)を暫定2車供用 H19.12. (市)中通線 - 駒ヶ根市福岡区間(L=1.3km)を暫定2車供用 </td><td>  </td></tr> <tr><td colspan="3"> <p>対策状況、定性的指標、利用者等意見を整理</p> </td></tr> </table>		事業概要			事業名	伊南バイパス	事業の背景	事業計画	平成9年度 ~ 平成29年度	一般国道153号の駒ヶ根市・飯島町周辺では、道路幅員の狭小や交通容量不足による慢性的な交通渋滞、沿道環境の悪化、交通事故の危険性などの課題を抱えている。	対策内容	<ul style="list-style-type: none"> 駒ヶ根市赤穂 - 飯島町本郷(L=9.2km)について伊南バイパスの整備を進めている。 H16.3. (主)駒ヶ根長谷線 - (市)中通線区間(L=1.7km)を暫定2車供用 H19.12. (市)中通線 - 駒ヶ根市福岡区間(L=1.3km)を暫定2車供用 		<p>対策状況、定性的指標、利用者等意見を整理</p>			<table border="1"> <tr><th colspan="3">バックデータ</th></tr> <tr><td>センサス区間番号</td><td colspan="2">1193</td></tr> <tr><td>DRM区間番号</td><td colspan="2">0</td></tr> <tr><td>年次</td><td colspan="2">渋滞損失時間 (千人時間/年・km)</td></tr> <tr><td>H16</td><td colspan="2">139.8</td></tr> <tr><td>H17</td><td colspan="2">85.8</td></tr> <tr><td>H18</td><td colspan="2">59.9</td></tr> <tr><td>H19</td><td colspan="2">59.9</td></tr> <tr><td>H20</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>H21</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>H22</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>H23</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>H24</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>H25</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>H26</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>H27</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>H28</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>H29</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>H30</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>H31</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>H32</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>H33</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>H34</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>H35</td><td colspan="2"></td></tr> </table>	バックデータ			センサス区間番号	1193		DRM区間番号	0		年次	渋滞損失時間 (千人時間/年・km)		H16	139.8		H17	85.8		H18	59.9		H19	59.9		H20			H21			H22			H23			H24			H25			H26			H27			H28			H29			H30			H31			H32			H33			H34			H35		
事業概要																																																																																									
事業名	伊南バイパス	事業の背景																																																																																							
事業計画	平成9年度 ~ 平成29年度	一般国道153号の駒ヶ根市・飯島町周辺では、道路幅員の狭小や交通容量不足による慢性的な交通渋滞、沿道環境の悪化、交通事故の危険性などの課題を抱えている。																																																																																							
対策内容	<ul style="list-style-type: none"> 駒ヶ根市赤穂 - 飯島町本郷(L=9.2km)について伊南バイパスの整備を進めている。 H16.3. (主)駒ヶ根長谷線 - (市)中通線区間(L=1.7km)を暫定2車供用 H19.12. (市)中通線 - 駒ヶ根市福岡区間(L=1.3km)を暫定2車供用 																																																																																								
<p>対策状況、定性的指標、利用者等意見を整理</p>																																																																																									
バックデータ																																																																																									
センサス区間番号	1193																																																																																								
DRM区間番号	0																																																																																								
年次	渋滞損失時間 (千人時間/年・km)																																																																																								
H16	139.8																																																																																								
H17	85.8																																																																																								
H18	59.9																																																																																								
H19	59.9																																																																																								
H20																																																																																									
H21																																																																																									
H22																																																																																									
H23																																																																																									
H24																																																																																									
H25																																																																																									
H26																																																																																									
H27																																																																																									
H28																																																																																									
H29																																																																																									
H30																																																																																									
H31																																																																																									
H32																																																																																									
H33																																																																																									
H34																																																																																									
H35																																																																																									
<table border="1"> <tr><th colspan="3">阻害状況、対策事業に対するコメント</th></tr> <tr><td colspan="3">小町屋南部交差点付近において、県内平均の10倍以上の渋滞損失時間が発生している。</td></tr> <tr><td colspan="3">駒ヶ根市 - 飯島町間を通行する車両を、国道153号から伊南バイパスに転換させることで、国道153号の渋滞の改善を図る。</td></tr> </table>		阻害状況、対策事業に対するコメント			小町屋南部交差点付近において、県内平均の10倍以上の渋滞損失時間が発生している。			駒ヶ根市 - 飯島町間を通行する車両を、国道153号から伊南バイパスに転換させることで、国道153号の渋滞の改善を図る。																																																																																	
阻害状況、対策事業に対するコメント																																																																																									
小町屋南部交差点付近において、県内平均の10倍以上の渋滞損失時間が発生している。																																																																																									
駒ヶ根市 - 飯島町間を通行する車両を、国道153号から伊南バイパスに転換させることで、国道153号の渋滞の改善を図る。																																																																																									

6. 対策完了箇所「Check(評価)」方法

6-5. 各指標による評価(ハラハラ箇所別評価)

< 個別箇所PDCA >

1. 概要

- 各イライラ箇所毎に整理するカルテを活用し、イライラ箇所の対策内容及び評価データを整理し、「経過観察」を行います。
- 今後、カルテを用いて、「Action(反映)」である「改善効果の確認」、「追加対策の必要性」を検討します。

2. 道路現況

3. 混雑多発

4. 第6回位置付け

5. フォロ-アップ

6. 評価方法

評価方針

データによる評価

現地視察会

各指標による効果

7. 新たな箇所

8. パブコメ

9. 今後の方針

安全性要対策箇所 一般国道18号 長野市稲葉付近		対策PDCAレベル C	No. 13																																																																																																											
<table border="1"> <tr><th colspan="2">箇所概要</th></tr> <tr><td>No.</td><td>13</td></tr> <tr><td>箇所名</td><td>長野市稲葉付近</td></tr> <tr><td>路線名</td><td>一般国道18号</td></tr> <tr><td>管轄</td><td>長野国道事務所</td></tr> </table>		箇所概要		No.	13	箇所名	長野市稲葉付近	路線名	一般国道18号	管轄	長野国道事務所	<table border="1"> <tr><th colspan="2">位置図</th></tr> <tr><td colspan="2"></td></tr> </table>		位置図																																																																																																
箇所概要																																																																																																														
No.	13																																																																																																													
箇所名	長野市稲葉付近																																																																																																													
路線名	一般国道18号																																																																																																													
管轄	長野国道事務所																																																																																																													
位置図																																																																																																														
<table border="1"> <tr><th colspan="2">センサスデータ</th></tr> <tr><td>代表箇所</td><td>H11</td><td>H17</td></tr> <tr><td>区間番号</td><td>1023</td><td>1023</td></tr> <tr><td>交通量(台/日)</td><td>33,238</td><td>29,025</td></tr> <tr><td>旅行速度(km/h)</td><td>14.0</td><td>19.6</td></tr> <tr><td>車道幅員(m)</td><td>9.0</td><td>9.0</td></tr> <tr><td>沿道状況</td><td>D1D</td><td>D1D</td></tr> </table>		センサスデータ		代表箇所	H11	H17	区間番号	1023	1023	交通量(台/日)	33,238	29,025	旅行速度(km/h)	14.0	19.6	車道幅員(m)	9.0	9.0	沿道状況	D1D	D1D	<table border="1"> <tr><th colspan="2">写真</th></tr> <tr><td colspan="2"></td></tr> </table>		写真																																																																																						
センサスデータ																																																																																																														
代表箇所	H11	H17																																																																																																												
区間番号	1023	1023																																																																																																												
交通量(台/日)	33,238	29,025																																																																																																												
旅行速度(km/h)	14.0	19.6																																																																																																												
車道幅員(m)	9.0	9.0																																																																																																												
沿道状況	D1D	D1D																																																																																																												
写真																																																																																																														
<table border="1"> <tr><th colspan="2">安全性阻害状況</th></tr> <tr><td>阻害要因</td><td>死傷事故率比、死傷事故件数</td></tr> <tr><td rowspan="3">抽出の背景</td><td>死傷事故件数が県内平均の5倍以上 (H12~H15死傷事故件数:27件)</td></tr> <tr><td>死傷事故率比が県内平均の10倍以上 (H12~H15死傷事故率比:10.6)</td></tr> <tr><td>(H12~H15追突事故件数:15件) (H12~H15歩行者・自転車事故件数:4件)</td></tr> </table>		安全性阻害状況		阻害要因	死傷事故率比、死傷事故件数	抽出の背景	死傷事故件数が県内平均の5倍以上 (H12~H15死傷事故件数:27件)	死傷事故率比が県内平均の10倍以上 (H12~H15死傷事故率比:10.6)	(H12~H15追突事故件数:15件) (H12~H15歩行者・自転車事故件数:4件)	<table border="1"> <tr><th colspan="2">パブコメ結果 : 箇所名(回答数)</th></tr> <tr><td>候補箇所</td><td>長野市稲葉(109)</td></tr> <tr><td>その他箇所</td><td>母袋陸橋以北(2)、長野大橋-東和田(1)、上高田北交差点(1)</td></tr> </table>		パブコメ結果 : 箇所名(回答数)		候補箇所	長野市稲葉(109)	その他箇所	母袋陸橋以北(2)、長野大橋-東和田(1)、上高田北交差点(1)																																																																																													
安全性阻害状況																																																																																																														
阻害要因	死傷事故率比、死傷事故件数																																																																																																													
抽出の背景	死傷事故件数が県内平均の5倍以上 (H12~H15死傷事故件数:27件)																																																																																																													
	死傷事故率比が県内平均の10倍以上 (H12~H15死傷事故率比:10.6)																																																																																																													
	(H12~H15追突事故件数:15件) (H12~H15歩行者・自転車事故件数:4件)																																																																																																													
パブコメ結果 : 箇所名(回答数)																																																																																																														
候補箇所	長野市稲葉(109)																																																																																																													
その他箇所	母袋陸橋以北(2)、長野大橋-東和田(1)、上高田北交差点(1)																																																																																																													
<table border="1"> <tr><th colspan="2">事業概要</th></tr> <tr><td>事業名</td><td>交通安全対策</td></tr> <tr><td>事業計画</td><td>平成19年8月完了</td></tr> <tr><td>事業の背景</td><td>・渋滞区間において支道に右左折する車両の走行軌跡が定まらず、前方車両に後続車両が追突する事故が発生している。</td></tr> <tr><td>対策内容</td><td> <ul style="list-style-type: none"> 路面標示(追突注意、センターゼブラ、予告矢印) </td></tr> <tr><td>対策状況、定性的指標、利用者等意見を整理</td><td> </td></tr> <tr><td>阻害状況・対策事業に対するコメント</td><td> <ul style="list-style-type: none"> ・センターゼブラを設置して車線幅の縮小し、走行軌跡の安定化を図り、追突事故を防止する。 ・"追突注意"、予告矢印等、路面標示を設置して、注意喚起を促し、追突事故を防止する。 </td></tr> </table>		事業概要		事業名	交通安全対策	事業計画	平成19年8月完了	事業の背景	・渋滞区間において支道に右左折する車両の走行軌跡が定まらず、前方車両に後続車両が追突する事故が発生している。	対策内容	<ul style="list-style-type: none"> 路面標示(追突注意、センターゼブラ、予告矢印) 	対策状況、定性的指標、利用者等意見を整理		阻害状況・対策事業に対するコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・センターゼブラを設置して車線幅の縮小し、走行軌跡の安定化を図り、追突事故を防止する。 ・"追突注意"、予告矢印等、路面標示を設置して、注意喚起を促し、追突事故を防止する。 	<table border="1"> <tr><th colspan="2">事故発生状況</th></tr> <tr><td>ITARDA 区間番号</td><td>旧 20-012284T</td></tr> <tr><td></td><td>新 20-003117T</td></tr> <tr><td rowspan="2">KP</td><td>旧 121436~121573</td></tr> <tr><td>新 121436~121616</td></tr> <tr><td>年次</td><td>死傷事故件数</td><td>死傷事故率比</td><td>死傷事故率(件/億台km)</td></tr> <tr><td>旧</td><td>H12~H15 27</td><td>10.6</td><td>406.1</td></tr> <tr><td></td><td>H13~H16 20</td><td>7.8</td><td>300.8</td></tr> <tr><td></td><td>H14~H17 17</td><td>6.8</td><td>255.7</td></tr> <tr><td>新</td><td>H15~H18 23</td><td>7.4</td><td>298.2</td></tr> <tr><td></td><td>H16~H19 17</td><td>6.0</td><td>220.4</td></tr> <tr><td></td><td>H17~H20</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>H18~H21</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>H19~H22</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>H20~H23</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>H21~H24</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>H22~H25</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>H23~H26</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>H24~H27</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>H25~H28</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>H26~H29</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>H27~H30</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>H28~H31</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>H29~H32</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>H30~H33</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>H31~H34</td><td></td><td></td></tr> </table>		事故発生状況		ITARDA 区間番号	旧 20-012284T		新 20-003117T	KP	旧 121436~121573	新 121436~121616	年次	死傷事故件数	死傷事故率比	死傷事故率(件/億台km)	旧	H12~H15 27	10.6	406.1		H13~H16 20	7.8	300.8		H14~H17 17	6.8	255.7	新	H15~H18 23	7.4	298.2		H16~H19 17	6.0	220.4		H17~H20				H18~H21				H19~H22				H20~H23				H21~H24				H22~H25				H23~H26				H24~H27				H25~H28				H26~H29				H27~H30				H28~H31				H29~H32				H30~H33				H31~H34		
事業概要																																																																																																														
事業名	交通安全対策																																																																																																													
事業計画	平成19年8月完了																																																																																																													
事業の背景	・渋滞区間において支道に右左折する車両の走行軌跡が定まらず、前方車両に後続車両が追突する事故が発生している。																																																																																																													
対策内容	<ul style="list-style-type: none"> 路面標示(追突注意、センターゼブラ、予告矢印) 																																																																																																													
対策状況、定性的指標、利用者等意見を整理																																																																																																														
阻害状況・対策事業に対するコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・センターゼブラを設置して車線幅の縮小し、走行軌跡の安定化を図り、追突事故を防止する。 ・"追突注意"、予告矢印等、路面標示を設置して、注意喚起を促し、追突事故を防止する。 																																																																																																													
事故発生状況																																																																																																														
ITARDA 区間番号	旧 20-012284T																																																																																																													
	新 20-003117T																																																																																																													
KP	旧 121436~121573																																																																																																													
	新 121436~121616																																																																																																													
年次	死傷事故件数	死傷事故率比	死傷事故率(件/億台km)																																																																																																											
旧	H12~H15 27	10.6	406.1																																																																																																											
	H13~H16 20	7.8	300.8																																																																																																											
	H14~H17 17	6.8	255.7																																																																																																											
新	H15~H18 23	7.4	298.2																																																																																																											
	H16~H19 17	6.0	220.4																																																																																																											
	H17~H20																																																																																																													
	H18~H21																																																																																																													
	H19~H22																																																																																																													
	H20~H23																																																																																																													
	H21~H24																																																																																																													
	H22~H25																																																																																																													
	H23~H26																																																																																																													
	H24~H27																																																																																																													
	H25~H28																																																																																																													
	H26~H29																																																																																																													
	H27~H30																																																																																																													
	H28~H31																																																																																																													
	H29~H32																																																																																																													
	H30~H33																																																																																																													
	H31~H34																																																																																																													

交通事故総合分析センターが提供している「死傷事故データの集計区間」が、平成19年度より、変更されています。

7. 新たなイライラ・ハラハラ候補箇所の抽出方針

7-1. 新たなイライラ候補箇所の抽出

< 個別箇所PDCA >

1. 概要

- 未対策・対策未完了の現イライラ箇所は、引き続き、対策実施や対策内容検討を進めていきます。
- 「混雑多発箇所」を指標として追加するとともに、最新データにより各指標を整理・把握し、新たなイライラ箇所を抽出します。

2. 道路現況

3. 混雑多発

4. 第6回位置付け

5. フォロ-アップ

6. 評価方法

7. 新たな箇所

イライラ箇所

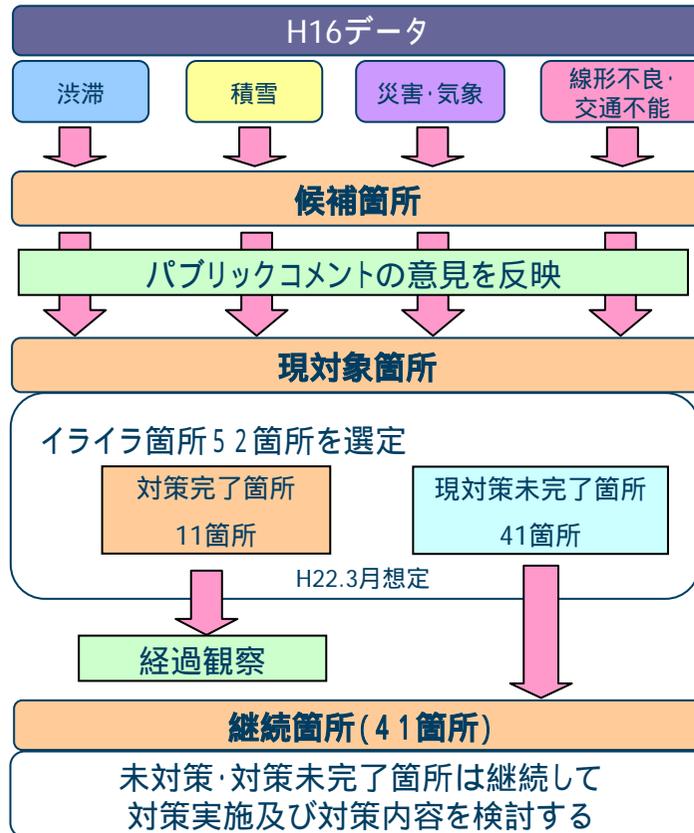
ハラハラ箇所

箇所リスト

8. パブコメ

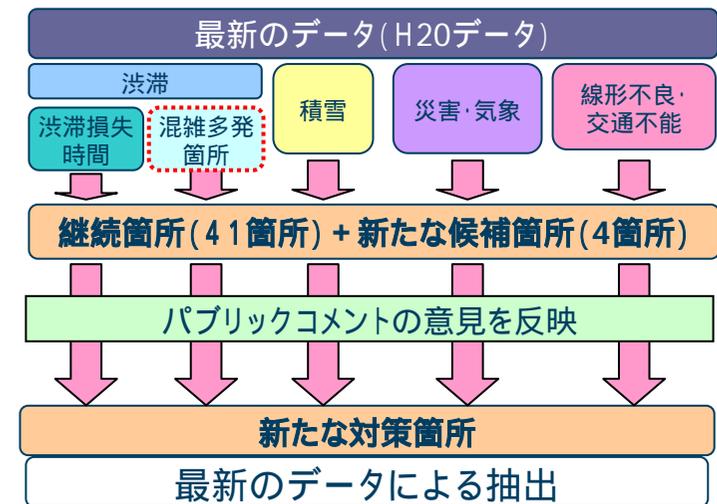
9. 今後の方針

現イライラ箇所(52箇所)



現イライラ箇所の進捗は、「P12. 5-1 イライラ箇所の進捗状況」を参照

最新データによる新たなイライラ箇所の抽出



新たなイライラ箇所の選定指標

都市部		郊外部	
渋滞	1kmあたり渋滞損失時間がH20の長野県平均(15.5千人時間/年 [※])の10倍以上の区間から、値が連続して高い箇所を主に抽出	災害・気象	主要な幹線道路において、災害や気象状況による全面通行止め実績がある区間を抽出
混雑多発箇所	全国基準(H20年度VICSデータ、渋滞損失時間データ)に基づき選定された箇所のうち、道路管理者(国、県)および交通管理者が現地状況を勘案・検討したうえで、選定した箇所	積雪	除雪後の堆積により車道幅員を確保できない区間を抽出
		線形不良・交通不能	主要な幹線道路において、急カーブ・急勾配・狭小幅員などの道路線形に問題のある区間または交通不能区間を抽出
		混雑多発箇所	全国基準(H17道路交通センサスデータ)に基づき選定された箇所のうち、道路管理者(国、県)および交通管理者が現地状況を勘案・検討したうえで、選定した箇所

7. 新たなイライラ・ハラハラ候補箇所の抽出方針

7-2. 新たなハラハラ候補箇所の抽出

< 個別箇所PDCA >

1. 概要

- 対策未完了である現ハラハラ箇所は、引き続き、対策実施や対策内容検討を進めていきます。
- 最新のデータにより各指標を整理・把握し、新たなハラハラ箇所を抽出します。

2. 道路現況

3. 混雑多発

4. 第6回位置付け

5. フォローアップ

6. 評価方法

7. 新たな箇所

イライラ箇所

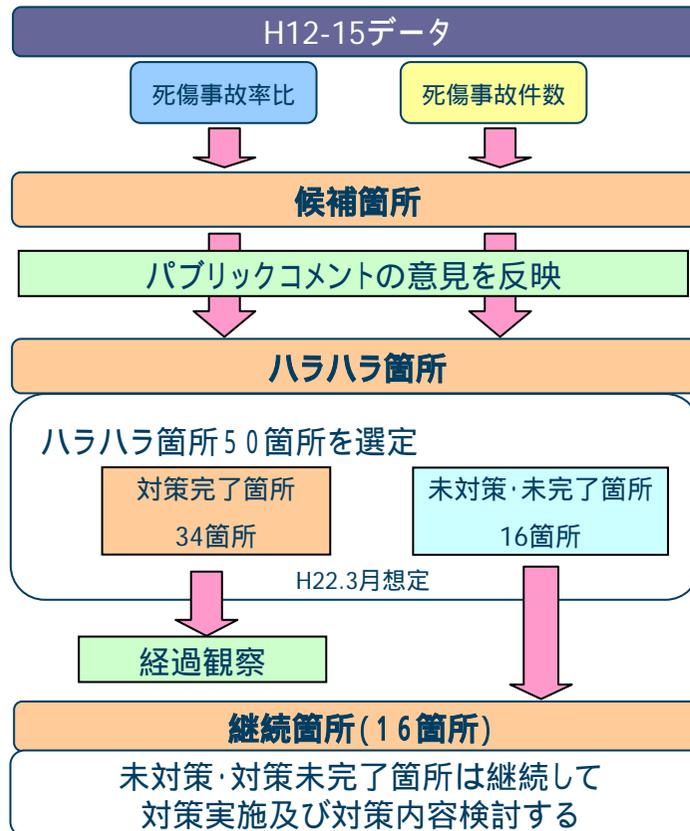
ハラハラ箇所

箇所リスト

8. パブコメ

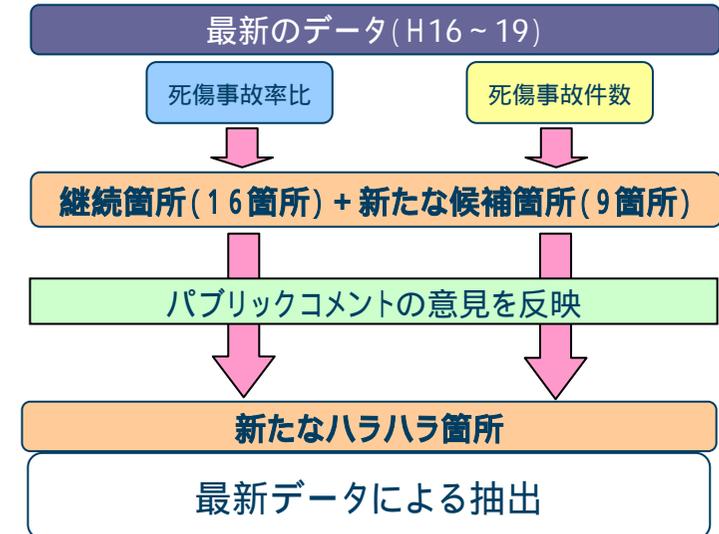
9. 今後の方針

現ハラハラ箇所(50箇所)



現ハラハラ箇所の進捗は、「P13. 5-2 ハラハラ箇所の進捗状況」を参照

最新データによる新たなハラハラ箇所の抽出



新たなハラハラ箇所の選定指標

第1次抽出

H16-19の4年間死傷事故件数が長野県平均の10倍以上の区間を抽出

第2次抽出

抽出された区間からさらに厳選

死傷事故率比

死傷事故率比が長野県平均の10倍以上の区間から事故の発生しやすい箇所を抽出

または

追突などによる死傷事故件数

追突事故や歩行者・自転車事故が多く発生している箇所を抽出

7. 新たなイライラ・ハラハラ候補箇所の抽出方針

7-3. 新イライラ・ハラハラ候補箇所

< 個別箇所PDCA >

1. 概要

- 新たな候補箇所としては、イライラ箇所4箇所、ハラハラ箇所9箇所の候補箇所を抽出しました。
- 今後、パブリックコメントによるご意見を参考にしながら、新たなイライラ・ハラハラ箇所を選定します。

2. 道路現況

3. 混雑多発

4. 第6回位置付け

5. フォロ-Up

6. 評価方法

7. 新たな箇所

イライラ箇所

ハラハラ箇所

箇所リスト

8. パブコメ

9. 今後の方針

新たなイライラ箇所の選定指標[再掲]

都市部		郊外部	
渋滞	1kmあたり渋滞損失時間がH20の長野県平均(15.5千人時間/年*)の10倍以上の区間から、値が連続して高い箇所を主に抽出	災害・気象	主要な幹線道路において、災害や気象状況による全面通行止め実績がある区間を抽出
混雑多発箇所	全国基準(H20年度VICSデータ、渋滞損失時間データ)に基づき選定された箇所のうち、道路管理者(国、県)および交通管理者が現地状況を勘案・検討したうえで、選定した箇所	積雪	除雪後の堆積により車道幅員を確保できない区間を抽出
		線形不良・交通不能	主要な幹線道路において、急カーブ・急勾配・狭小幅員などの道路線形に問題のある区間または交通不能区間を抽出
		混雑多発箇所	全国基準(H17道路交通センサデータ)に基づき選定された箇所のうち、道路管理者(国、県)および交通管理者が現地状況を勘案・検討したうえで、選定した箇所

新たなイライラ箇所(候補)

No.	路線名	場所(交差点名等)	阻害要因
1	一般国道18号	軽井沢町南軽井沢～浅間サンライン入口	渋滞
2	一般国道18号	長野市篠ノ井橋北～綱島	渋滞
3	一般国道19号	長野市下氷館小学校北～大塚南	渋滞
4	(主)長野上田線	長野市稲里西～御幣川	渋滞

新たなハラハラ箇所の選定指標[再掲]

第1次抽出	第2次抽出
H16-19死傷事故件数が長野県平均の10倍以上の区間を抽出	抽出された区間からさらに厳選
	死傷事故率比 死傷事故率比が長野県平均の10倍以上の区間から事故の発生しやすい箇所を抽出 または
	追突などによる死傷事故件数 追突事故や歩行者・自転車事故が多く発生している箇所を抽出

新たなハラハラ箇所(候補)

No.	路線名	場所(交差点名等)	阻害要因
1	一般国道18号	軽井沢町浅間サンライン入口	死傷事故件数
2	一般国道18号	上田市大屋	死傷事故件数
3	一般国道18号	千曲市杭瀬下	死傷事故件数
4	一般国道19号	塩尻市九里巾	死傷事故件数
5	一般国道19号	塩尻市堅石原工業団地	死傷事故件数
6	一般国道19号	安曇野市田沢	死傷事故件数
7	一般国道19号	長野市市役所前	死傷事故件数
8	一般国道20号	諏訪市四賀桑原	死傷事故件数
9	(一)長野豊野線	長野市徳間付近	死傷事故件数

新たなイライラ・ハラハラ箇所(候補)の位置図



8. パブリックコメントの実施方針

<プランPDCA>

<個別箇所PDCA>

1. 概要

2. 道路現況

3. 混雑多発

4. 第6回位置付け

5. フォロ-アップ

6. 評価方法

7. 新たな箇所

8. パブコメ

パブコメ方針

9. 今後の方針

- 「取り組みの認知度」、「取り組みの評価」、「対策完了箇所の評価」、「新たなイライラ・ハラハラ候補箇所に対する意見」の収集を目的として、パブリックコメントを実施します。
- パブリックコメントの調査は、平成22年1月中下旬～2月中下旬を予定しています。

【パブリックコメントの位置付け】

- PDCAサイクルにおける「Check(評価)」および「Action(反映)」として位置付ける。

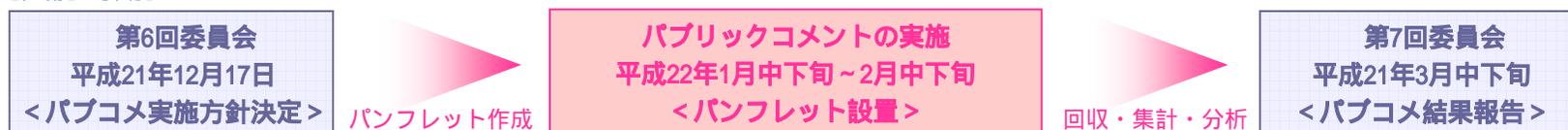
【パブリックコメントの設問(案)】

No	調査内容	設問(案)
1	全体の実施状況について	(対策の進捗状況を図や一覧表で提示した後) 全体の実施状況に対する感想をお聞かせください? その他で意見がございましたら自由回答欄にご記入ください。a～dより1つお選び下さい。 a)もっと早く対策を推進してほしい。b)適切に対策が進んでいる、c)対策の進みが早い、 d)特に対策への要望はない、e)その他(自由回答)
2	取り組みの認知度/取り組みへのプロセス(ex. 対策完了箇所は、経過観察を行う等)に対する意見について	長野県内の“イライラ”・“ハラハラ”箇所の解消に向けて、対策を進めていることをご存知かお教えてください。(知っている・知らない) 対策完了した箇所は、効果を評価する際に必要なデータを蓄積するため、経過観察を行います。このような取り組みについて、ご意見・ご要望がございましたらご記入ください。
3	新たな対策箇所のうち、最も優先的に改善すべき箇所/今後の取り組み等についての意見・要望について	(新たな対策箇所を図や一覧表で提示した後) 【イライラ箇所】:最も優先的に改善すべきだと思う箇所(区間)を教えてください。 【ハラハラ箇所】:最も優先的に改善すべきだと思う箇所(区間)を教えてください。 それ以外で改善が必要と思われる箇所がありましたら、路線名・交差点名・住所などを記入ください。 イライラ”・“ハラハラ”箇所の解消に向けた今後の取り組み等に対して、ご意見・ご要望がございましたらご記入ください。

【実施方法】

- パブリックコメントは、以下の実施方法を予定しています。
- 関係機関や道の駅等において配布するパンフレット添付の意見聴取はがきによる実施
 - インターネット上でのアンケートの実施
 - パブリックコメント実施告知を、新聞広告等多様な媒体を使用し広報

【実施時期】



9 . 今後の方針

9 - 1 . 第7回委員会の予定

< プランPDCA >

1. 概要

- 第7回委員会は平成21年3月中下旬の開催を予定しています。
- 第7回委員会では、「Action(反映)」が主な検討内容となります。

2. 道路現況

3. 混雑多発

4. 第6回位置付け

5. フォロ-アップ

6. 評価方法

7. 新たな箇所

8. パブコメ

9. 今後の方針

Plan

~ 計画 ~

第1 ~ 第3回移動性・安全性向上検討委員会

< H19.3.20 > 「イライラ(移動性障害)箇所見える化プラン」及び「ハラハラ(安全性要対策)箇所見える化プラン策定

イライラ及びハラハラ箇所の対策事業整理(カルテ作成)

Do

~ 実施 ~

< H20.1.31 > 第4回移動性・安全性向上検討委員会開催

< H20.2 > 対策事業に関するパブリックコメントの実施

< H20.3 > 第5回移動性・安全性向上検討委員会の開催

Check

~ 評価 ~

< H20.1.31 > 第4回移動性・安全性向上検討委員会開催

< H20.3 > 第5回移動性・安全性向上検討委員会の開催

< H21.12 > 第6回移動性・安全性向上検討委員会の開催

Action

~ 反映 ~

< H22.1 > 対策効果及び新たな箇所に関するパブリックコメント実施

< H22.3 > 第7回移動性・安全性向上検討委員会

~ 第7回委員会の検討項目(案) ~

イライラ・ハラハラ箇所の進捗状況について

パブリックコメントの実施
~「イライラ・ハラハラ箇所の対策方針」について~

パブリックコメントの実施結果

新たなイライラ・ハラハラ箇所における対策推進
について